中西部
ヤングサッカーニュース
2018 1
発行人　一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者　滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第26回全日本高校女子サッカー選手権大会

藤枝順心　2年ぶり3回目の優勝

全日本高校女子サッカー選手権大会（12月30日～1月7日・兵庫県）で藤枝順心が2年ぶり3回目の優勝を果たした。

今大会5試合で22得点の藤枝順心。1回戦の専修大学北上には、千葉玲海菜と小原蘭菜が2得点ずつを挙げるなどで10得点。松商学園との準々決勝でも、開始6分の安部由紀夏のゴールを皮切りに7得点と、ともに力の差を見せつけて快勝した。

夏の全国高校総体決勝と同カードとなった日ノ本学園との2回戦では、相手の堅い守りを、後半32分に齋藤久瑠美のロングパスのこぼれ球を今田紗良が拾ってこじ開け、決勝ゴールを奪って雪辱を果たした。

準決勝は前回大会の準々決勝で敗れている大商学園との対戦となり、数人で囲んでボールを奪うと素早く前に送る相手に「前半は戸惑ったが、点が取れて後半は慣れてきた」と多々良和之監督。前半14分に並木千夏の右CKに大村琴美が頭で合わせて先制点を奪うと、後半14分には今田が左サイドから切り込んで右足を振り抜いて鮮やかに決め突き放した。

迎えた作陽との決勝は、相手のロングボールで押し込まれたが、守備でしっかり対応し耐えた。そして前半40分、相手DFのミスパスを奪った今田が持ち上がり前線に抜けた青木なつみにパス。それを青木が決めて先制点を奪った。さらに45分には大村の早い弾道のロングクロスが前線中央にいた並木に渡り2点目を奪取。後半は追加点こそなかったが、相手の反撃を許さず、そのまま逃げ切り歓喜の時を迎えた。

狙った優勝　全試合無失点

「今回は優勝だけを目指してやってきた」と多々良和之監督。2年前の選手権や高校総体の優勝は「相手の良さを消すことで相手が崩れる展開」で勝利をもぎ取った。だが前回の大商学園戦や高校総体の日ノ本学園戦はそれだけでは勝てなかった。課題を見つけ、セットプレーを何度も練習するなどして積み上げたものが実を結んだ。

さらに「自分たちの思うような展開ではない時にしっかり考えて試合運びができた」と選手を称えた多々良監督が、「番素晴らしいと話すのは「無失点での優勝」、守備の強化も実り、偉業を成し遂げた。

試合結果

〈1回戦〉藤枝順心	10－0 専修大北上
〈2回戦〉藤枝順心	1－0 日ノ本学園
〈準々決勝〉藤枝順心	7－0 松商学園
〈準決勝〉藤枝順心	2－0 大商学園
〈決勝〉藤枝順心	2－0 作陽

長谷部　誠

アイントラハト・フランクフルト（ドイツ）MF
1984年1月18日生
青島東SSS→藤枝東高校→浦和レッドダイヤモンズ→VfLヴォルフスブルク→1．FCニュルンベルク

ワールドカップイヤーの2018年、藤枝市出身の長谷部誠選手が3大会目の出場を目指して、ドイツでスタートを切った。

明けましておめでとうございます。

2017年は私にとって非常に中身の濃い1年となりました。3月にブンデスリーガの試合で怪我をし全治4～5ヶ月という長い時間をリハビリに費やしました。しかし、8月末のオーストラリア戦になんとか間に合わせ、ロシアW杯の出場を獲得することが出来ました。

そして2018年にはそのロシアW杯があります。まずはその日本代表メンバーに選ばれる事。日本中の期待を胸に、日の丸を背負う責任と誇りを持ち戦いたいと思います。中西部地区の皆様に良いニュースを届けられるよう頑張ります。

2018年も皆様の御健康と御多幸を願っています。

3大会目のW杯出場を目指す

© JFA

2018FIFAワールドカップ ロシア

2018FIFAワールドカップロシアが6月14日に開幕する。日本はグループステージでグループHに入り、コロンビア、セネガル、ポーランドと対戦する。いずれも FIFAランキングは日本より上位だが、まずは決勝トーナメント進出を目指して、厳しい戦いに臨む。

グループステージ・グループH 日本の試合日程			
期日	現地時間（日本時間）	対戦相手	会場
6/19(火)	15:00（19日21:00）	コロンビア	サランスク
6/24(日)	20:00（25日 0:00）	セネガル	エカテリンブルク
6/28(木)	17:00（28日23:00）	ポーランド	ヴォルゴグラード

Jリーグで中西部選手が活躍

Jリーグのチームで長く活躍している大井健太郎選手と枝村匠馬選手からメッセージが届いた。

© S-PULSE

枝村 匠馬

アビスパ福岡　MF
1986年11月16日生
榛原川崎SSS→清水エスパルスJY→清水エスパルスY→清水エスパルス→セレッソ大阪→名古屋グランパスエイト→ヴィッセル神戸→清水エスパルス

今年、アビスパ福岡に移籍しました枝村匠馬です。J2からJ1に上がれるように頑張りたいと思います。

少年たちにはサッカーを通じてたくさんのことを学んで欲しいと思います。サッカーは11人でやるスポーツです。味方を助け、助けられて勝利を目指します。これからの自分の未来を、仲間と共に作っていって欲しいと思います。

Jリーグ14年目を迎える枝村匠馬選手。リーグ通算320試合で昨年も30試合に出場し、清水のJ1残留に貢献した。今季は期限付き移籍によりアビスパ福岡でプレーする。

© JUBILO IWATA

大井 健太郎

ジュビロ磐田　DF
1984年5月14日生
高洲南SSS→ACMブルックスFC→藤枝東高校→ジュビロ磐田→湘南ベルマーレ→アルビレックス新潟

昨季は磐田でゲームキャプテンを務め、DFとしてもリーグ最少失点に貢献。Jリーグ優秀選手賞を受賞した。

―今季に向けて―

昨シーズン（2017）以上の成績を目標に、今まで取り組んできた積み重ねを大事にし、チームとして、一つ一つ上積みできるように努力していきたいと思います。

―地元・若い選手たちへ―

日々の練習や試合の中では、失敗を恐れず思いっきりプレーして欲しいと思います。その中で、個人やチームとしての課題がみえてくると思うので、その課題を一つ一つクリアできるように努力して頑張って下さい。

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 2

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

藤枝MYFC新体制で再スタート

2018 明治安田生命 J3リーグ

地域との「一体感」

藤枝MYFCは鎌田昌治氏の代表取締役就任が決まり、新体制での新たなスタートを切った。2月1日には新スタッフの記者会見が行われ、鎌田代表は今季のスローガンを「一体感」と発表。チーム内はもちろん、地域とチームの一体感を重要視していく考えだ。「地域の活動に積極的に参加することから始め、応援していただけるチームにしたい」と話した。

さらに、今季もチームの目標を「優勝を目指し、悪くても5位以内」として、これを達成した際には、来季はJ2昇格を視野に、J2ライセンス取得の課題を含め活動を広げていきたい考えを示した。

新スタッフ会見より、前列左からシジマール ヘッドコーチ、鎌田昌治代表、大石篤人監督、後列左から新加入の武藤敏道ＧＫコーチと黒川隆史テクニカルコーチ、昨季からの増嶋真也コーチと新井健太コーチ。

鎌田昌治代表略歴

藤枝東高校出身で在学時に主将として全国高校選手権優勝、同校の監督も務め昭和59年度の全国高校選手権で3位に導いた。平成12年度から6年間、中西部支部理事長を務め、現在は中西部支部副会長。

3月10日 ホームで開幕

藤枝MYFCの今季J3リーグはホームで始まる。3月10日に開幕戦が藤枝総合運動公園サッカー場で行われる。今季は選手の3分の2が入れ替わり、21人が新加入した。1月10日の新入団選手の発表会見では、大石篤人監督が「選手の成長と順位を考え、全ての選手で一体感を持ってやっていきたい」と話した。さらに「昨年の得点力は継続し、もったいない失点をなくすように変えなければ」として、開幕への準備を整える。

吉田町出身のGK杉本拓也選手（前列左から3人目）など、新加入選手会見では16人が発表された。

藤枝MYFCの前半戦（第１節～第17節）試合日程（期日の　　はホームゲーム）

節	開催日	時間	対戦相手	会　場
1	3/10(土)	13:00	ＡＣ長野パルセイロ	藤枝総合運動公園サッカー場
2	3/17(土)	13:00	カ　ター　レ　富　山	富山県総合運動公園陸上競技場
3	3/21(祝)	13:00	ギラヴァンツ北九州	藤枝総合運動公園サッカー場
4	3/25(日)	13:00	鹿児島ユナイテッドFC	鹿児島県立鴨池陸上競技場
5	4/ 1(日)	14:00	ガンバ大阪Ｕ－23	パナソニックスタジアム吹田
6	4/ 8(日)	13:00	ガイナーレ鳥取	藤枝総合運動公園サッカー場
7	4/15(日)	14:00	ザスパクサツ群馬	正田醤油スタジアム群馬
8	4/29(日)	13:00	福島ユナイテッドFC	とうほう・みんなのスタジアム
9	5/ 3(祝)	13:00	アスルクラロ沼津	藤枝総合運動公園サッカー場
10	5/ 6(日)	13:00	Ｙ．Ｓ．Ｃ．Ｃ．横浜	藤枝総合運動公園サッカー場
11	5/20(日)	13:00	グルージャ盛岡	いわぎんスタジアム
12	6/ 2(土)	13:00	Ｓ　Ｃ　相　模　原	藤枝総合運動公園サッカー場
14	6/16(土)	13:00	ブラウブリッツ秋田	藤枝総合運動公園サッカー場
15	6/23(土)	19:00	セレッソ大阪Ｕ－23	キンチョウスタジアム
16	6/30(土)	17:00	Ｆ　Ｃ　東　京　Ｕ－23	藤枝総合運動公園サッカー場
17	7/ 7(土)	18:00	Ｆ　Ｃ　琉　球	沖縄県総合運動公園陸上競技場

※第13節は藤枝ＭＹＦＣの試合はなし、後半戦の試合日程は決まり次第お知らせします。

中西部Bが優勝 日本マスターズ東海大会出場権獲得

第24回 静岡県Ｏ－35 サッカー選手権大会

静岡県Ｏ－35サッカー選手権大会が1月28日、2月4日に藤枝総合運動公園陸上競技場などで行われ、中西部Ｂが優勝し、6月に藤枝市で開催される日本マスターズ東海大会の出場権を中西部支部として3年ぶりに獲得した。

5支部の各選抜チームが参加し、開催支部の中西部は2チームが出場。2組で争った予選リーグで、中西部Ａが Ａリーグ2位、中西部Ｂが Ｂリーグ1位となり、ともに決勝トーナメントに進出した。その両チームが準決勝で対戦し、Ｂチームが後半1分に杉山和弘が決めた1点で競り勝って決勝に進んだ。敗れたＡチームは3位となった。

中西部Ａは3位

決勝は中東部との対戦で小沢剛のゴールで先制するも、12分にＰＫ、14分にはカウンターで失点し逆転を許す。だが、ボールを支配し攻勢を強めた後半、選手交代を効果的に使い、21分に向島雅之、アディショナルタイムに上田昌広が決めて再逆転し、優勝をもぎ取った。

予選リーグ試合結果

〈Ａリーグ〉
中部 4－1 **中西部Ａ**
中部 3－0 東部

〈Ｂリーグ〉
中西部Ｂ 3－0 中東部
中東部 2－0 西部
中西部Ｂ 6－0 西部

決勝トーナメント試合結果

中西部支部Ｂ 2（1－0）0 中西部選抜Ａ
中西部選抜Ｂ 3（1－0）0 中部選抜

2017年度 東海地区中学選抜サッカー大会

U－14に5名
U－13に2名
中西部登録選手選出

東海地区中学選抜大会が1月27日、28日に掛川市つま恋で行われた。U－14とU－13の部で、それぞれ4県の各県トレセンチームと、ジュビロ磐田、清水エスパルス、名古屋グランパス、FC岐阜のJクラブ4チームに、JFAアカデミー福島が参加して、各チーム4試合ずつを実施した。

U－14の中西部登録選手

中村　吏玖	藤枝東FC
前島　新汰	藤枝東FC
前島　陵汰	藤枝東FC
名波　斗慈	清水エスパルスSS藤枝
中島　琉斗	藤枝東FC

U－13の中西部登録選手

吉川慶次郎	藤枝東FC
増川　暖	藤枝東FC

東海エリートに1名選出

静岡県トレセンには、中西部登録ではU－14に5名、U－13に2名が選出された。

さらに2月10日、11日に実施された東海エリート合宿に、U－13で吉川慶次郎選手が選出された。

静岡県大会

藤枝東が準決勝進出

県大会は東部・中部・西部の各地区大会を勝ち上がった32校が参加して、2月4日に開幕した。1回戦で榛原は東部2位の飛龍に延長後半の1失点で敗れ、静清は西部2位の浜名に先制するも追いつかれてPK11戦の末に惜敗した。そして日の準々決勝に勝ち進んだ藤枝東は浜名と対戦し、無得点で突入したPK戦で競り勝ち準決勝進出を決めた。

大会は準決勝が2月17日、決勝は翌18日に草薙球技場で実施される。

榛原 VS 島田樟誠

平成29年度 静岡県高校新人大会サッカー競技

中部地区大会 中西部３校が県大会出場

静岡県高校新人大会の中部地区大会は、1次ラウンドのリーグ戦が1月7日から14日まで、2次ラウンドのトーナメント戦が同月20日から28日まで行われ、県大会出場の12チームが決まった。

一つの合同チームを含む31チームが8組に分かれて行った1次ラウンドから、各組の上位2チームが2次ラウンドに進出。高校選手権県大会決勝進出の清水桜が丘と静岡学園は特別シードとして2次ラウンドからの参戦で、計18チームでトーナメント戦が行われた。

中西部勢では藤枝東、静清、榛原、島田樟誠、島田商業、島田工業が2次ラウンドに進み、藤枝東、静清、榛原の3チームが県大会出場を決めた。藤枝東は2組に分けて争われたトーナメント戦で静岡学園とともに1位になった。静清は初戦で静岡北に敗れたが、敗者同士が対戦した県大会出場を決める9位決定戦では、静岡市立に前半早々に先制すると後半も2点を加えて勝利し、2年連続で県大会へ。榛原は9位決定戦で島田樟誠との中西部対決を制して4年ぶりの県大会出場となった。

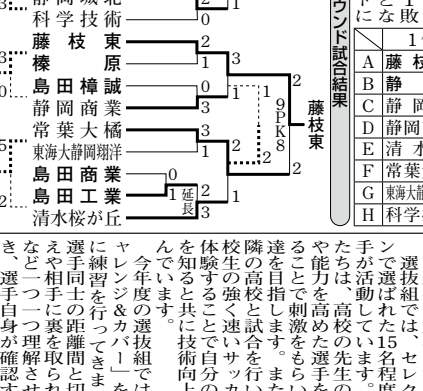
島田樟誠 初の2次ラウンド進出

島田樟誠は1次ラウンドの3試合を1勝1分け1敗で終えCブロック2位となり、初めて2次ラウンドに進んだ。2次ラウンドでは攻勢をかけるも、ミスからの失点などで敗れ県大会出場を逃したが、躍進の大会となった。

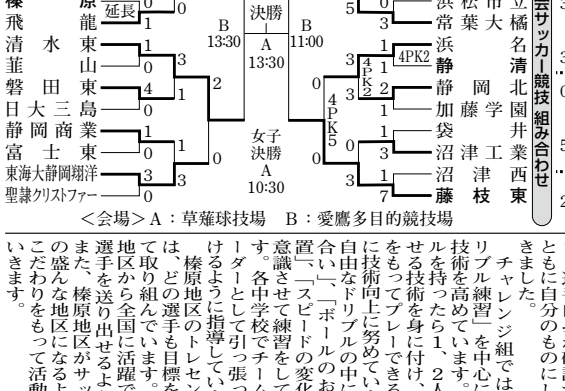
1次ラウンド最終順位

	1位	2位	3位	4位
A	**藤枝東**	静岡市立	静岡東	――
B	**静清**	**榛原**	**島田**	静岡西
C	静岡北	**島田樟誠**	**焼津中央**	**藤枝西**
D	静岡商業	静岡	**藤枝明誠**	城南静岡
E	清水東	**島田商業**	清水国際	静岡大成
F	常葉大橘	清水西	駿河総合	**相良**
G	東海大静岡翔洋	静岡城北	**藤枝北**	**清流館**
H	科学技術	**島田工業**	**焼津水産**	**金谷・川根**

2次ラウンド試合結果



静岡県高校新人大会サッカー競技 組み合わせ



＜会場＞Ａ：草薙球技場　Ｂ：愛鷹多目的競技場

チャレンジ組

チャレンジ組では、「ドリブル練習」を中心に個人技術を高めています。ボールを持ったら1、2人かわせる技術を身に付け、自信をもってプレーできるように技術向上に努めています。自由なドリブルの中に「間合い」、「ボールのおく位置」、「スピードの変化」を意識させて練習をしています。各中学校でチームのリーダーとして引っ張っていけるように指導しています。

榛原地区のトレセン活動は、どの選手も目標をもって取り組んでいます。榛原地区から全国に活躍できる選手を送り出せるように、また、榛原地区がサッカーの盛んな地区になるようにこだわりをもって活動していきます。

今年度の選抜組では「チャレンジ＆カバー」を重点に練習を行ってきました。選手同士の距離間と切り替えや相手に裏を取られないなど一つ一つ理解させていき、選手自身が確認するとともに自分のものにしていきました。

隣の高校と試合を行い、高校生の強く速いサッカーを体験することで自分の実力を知ると共に技術向上に励んでいます。

榛原地区トレセンでは、4つの中学校から活躍している選手をセレクションし、選抜組とチャレンジ組に分かれ「次のステップで活躍できるスキルを身に付ける」ことを目標に、毎週火曜日と水曜日に活動をしています。高校でサッカーを続ける生徒や上級生になってチームの軸となってプレーできる選手が対象です。

選抜組では、セレクションで選ばれた15名程度の選手が活動しています。選手たちは、高校の先生の指導や能力を高めた選手を集めることで刺激をもらい、上達を目指します。また、近隣の高校と試合を行い、高校生の強く速いサッカーを体験することで自分の実力を知ると共に技術向上に励んでいます。

CHALLENGE チャレンジ
3種榛原地区 競技力向上担当
山本 哲也
こだわりをもったサッカー

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 3
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

明治安田生命J3リーグ
藤枝MYFC 開幕戦を勝利で飾る

Ｊ３で５年目となる今季、３月10日に藤枝ＭＹＦＣの開幕戦が、ホーム藤枝総合運動公園サッカー場で行われた。試合前には今季就任した鎌田昌治代表が挨拶し「地域の皆様との深い交流を通して、共に発展できるクラブになるよう努力したい。選手は全力を出して勝利に向けてプレーをするので、熱い応援をお願いしたい」と語った。

ＡＣ長野パルセイロを迎えての試合は、昨季の最終戦から先発10人が入れ替わる新鮮な顔ぶれとなった。立ち上がりに押し込まれたが、徐々にボールをつなげ相手ゴールに迫った。だが得点には至らず、30分には長野にＤＦからのロングボールでＧＫとの１対１の場面を作られるも、ＧＫ杉本拓也がシュートを跳ね返しピンチを逃れた。後半に入り、26分に北川滉平が倒されＰＫを得て、相手ＤＦが退場。このＰＫは止められたが、36分に右サイドの小牧成亘があげたクロスに途中出場の渡辺亮太が頭で合わせたシュートは、弧を描いてゴールに吸い込まれ、待望の先制点を奪った。そして、終盤の相手の反撃をしのいで逃げ切り、「新生藤枝ＭＹＦＣ」が開幕戦を白星で飾った。

北村市長がキックイン

北村正平藤枝市長によるキックインセレモニーでこの試合は幕を開けた。これに先立ち北村市長は挨拶で「シーズンを通して私たちの藤枝ＭＹＦＣに熱い声援を送り支えていこう」と呼び掛けた。

チーム公式マスコットが登場

２０１５年11月に発表されたチームのマスコットキャラクターが開幕戦に初登場した。フェニックス（不死鳥）をモチーフにしたもので「蹴っとばし小僧」の名前も発表された。試合後には選手と共に勝利を喜んだ。

藤枝MYFC登録選手

No.	位置	選手名	年齢	出身地	前所属チーム
1	GK	川田　修平	23	埼玉県	栃木ＳＣ
3	DF	西村　洋平	24	兵庫県	栃木ＳＣ
4	DF	秋山　貴嗣	25	香川県	ガイナーレ鳥取
5	DF	浅田　大樹	28	東京都	ＦＣ琉球
6	MF	柿木　亮介	26	兵庫県	ガイナーレ鳥取
7	MF	水野　泰輔	24	愛知県	ＦＣ岐阜
8	MF	岩渕　良太	27	東京都	グルージャ盛岡
9	FW	谷口　堅三	29	鹿児島県	グルージャ盛岡
10	MF	大迫　　希	27	鹿児島県	ヴェルスパ大分
11	MF	北川　滉平	22	島田市	Ｖ.ファーレン長崎
13	MF	大竹　隆人	29	東京都	ＦＣ町田ゼルビア
14	MF	垣根　拓也	26	滋賀県	グルージャ盛岡
15	MF	養父　雄仁	33	神奈川県	Ｖ.ファーレン長崎
16	MF	鮫島　晃太	25	鹿児島県	ＡＣ長野パルセイロ
17	DF	阿渡　真也	27	神奈川県	ツエーゲン金沢
18	DF	種岡　岐将	23	栃木県	東京武蔵野シティＦＣ
19	MF	越智　亮介	27	愛媛県	ツエーゲン金沢
20	DF	木下　高彰	24	浜松市	福島ユナイテッドＦＣ
21	GK	佐藤　　隼	21	神奈川県	産業能率大学
22	DF	齊藤　隆成	23	大阪府	水戸ホーリーホック
23	MF	小牧　成亘	25	熊本県	アスルクラロ沼津
24	DF	光永　祐也	22	福岡県	ロアッソ熊本
25	DF	川上　盛司	22	栃木県	栃木ＳＣ
26	DF	浦島　貴大	29	滋賀県	ブラウブリッツ秋田
27	DF	関　　光博	35	東京都	鹿児島ユナイテッドＦＣ
28	FW	遠藤　純輝	23	岐阜県	ＦＣ町田ゼルビア
29	FW	渡辺　亮太	27	東京都	アスルクラロ沼津
30	GK	杉本　拓也	28	吉田町	ガイナーレ鳥取
31	GK	李　　在根	24	大阪府	ＦＣコリア
32	MF	稲垣　雄太	26	兵庫県	ＭＩＯびわこ滋賀
33	DF	金　　聖基	29	兵庫県	ＦＣ町田ゼルビア

※年齢は３月15日現在

藤枝MYFCスタッフ

役職	氏名	出身地
監督	大石　篤人	大阪府
ヘッドコーチ	シジマール	ブラジル
コーチ	増嶋　真也	千葉県
コーチ	新井　健太	群馬県
ＧＫコーチ	武藤　敏道	埼玉県
テクニカルコーチ	黒川　隆史	神奈川県

全国高校総体開催をPR
女子サッカーは藤枝市で実施

今夏に東海地域で開催される全国高校総体のＰＲ活動が、藤枝ＭＹＦＣ開幕戦の会場で行われた。女子サッカー競技は藤枝市（藤枝総合運動公園など）で８月１日から５日まで実施され、ハーフタイムには藤枝東高校と焼津中央高校の生徒により告知が行われた。藤枝西高校を含む３校の生徒が推進校として活動している。

平成29年度 静岡県高校女子サッカー新人大会
藤枝順心が15連覇!!

静岡県高校女子サッカー新人大会が１月21日から２月18日まで行われ、藤枝順心が15連覇した。

予選リーグを３戦全勝で終え、ブロック１位で決勝トーナメントに進んだ藤枝順心は、準決勝で常葉大橘と対戦した。優位に進めるもゴールを奪えずにいたが、前半32分にＦＫを小原蘭菜が蹴り込んで奪った１点で勝利し、決勝に駒を進めた。

磐田東との対戦となった決勝は、立ち上がりに押し込まれ、10分に先制点を許してしまう。その後はボールを保持し相手ゴールに詰め寄るが得点には至らない。後半早々の２分にも失点し２点を追いかける展開に追い込まれた。だが、６分に得たＰＫを田中愛梨が決めて１点差にすると反撃開始。２分後にはゴール前のこぼれ球を金子麻優が押し込み同点にする。そして、18分梨のクロスを角田菜々子が頭で合わせて３点目を奪い、逆転で優勝を果たした。

昨年は先に失点するとひっくり返せなかった。ひっくり返す力をつけないといけないが、そういう試合ができて良かった」と多々良和之監督はこの決勝を好材料に捉えた。

予選リーグ最終順位

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1	常葉大橘	**藤枝順心**	磐田東	桐陽
2	静岡大成	東海大静岡翔洋	磐田北	**清流館**
3	聖隷クリストファー	吉原	沼津西	清水国際
4	浜松聖星	**藤枝西**	――	――

決勝トーナメント試合結果

常葉大橘 2－1 東海大静岡翔洋
磐田北 0－4 **藤枝順心**
桐陽 2－1 静岡大成
清流館 0－6 磐田東
常葉大橘 0－1 **藤枝順心** 3－2
藤枝順心 2－0 磐田東

清流館が２年連続で決勝Ｔ進出

２月４日まで行われた予選リーグで、清流館は１勝１敗でＤブロック２位となり、昨年に続いて決勝トーナメントに進出した。

平成29年度 静岡県高校新人大会サッカー競技
藤枝東 第３位

静岡県高校新人大会サッカー競技は準決勝が２月17日に愛鷹多目的競技場で行われ、２年連続で４強入りした藤枝東が常葉大橘と対戦した。サイドを基点に攻め上がるが、決めきれずに無得点で前半を終える。すると後半開始直後に中央をドリブルで持ち上がられミドルシュートで先制される。16分にはＣＫのこぼれ球を押し込まれて２点のリードを許す。それまでの試合ではつかめていた主導権もこの試合では奪えず「あらゆる場所で数的優位を作られた」と小林公平監督。反撃を試みるが相手の守りに跳ね返され、このままタイムアップ。決勝進出を逃し３位となった。

試合結果（準決勝以上の試合のみ）

静岡学園 5－0 清水東
静岡学園 3－0 常葉大橘
常葉大橘 2－0 **藤枝東**

チャレンジ

3種島田地区競技力向上担当
岩間　康孝

個を磨く
～基本技術の精度を上げる～

島田地区トレセンでは、将来を考えた個々の選手の育成が目的であり、所属チームでの活動を制約するものでも、良い選手を集めて「選抜チーム」をつくるためのものでもありません。なおかつ試合に勝つためだけの目的でもありません。所属チームの中で、サッカーに対するモチベーションやスキルの高い選手、もう少し集中的に指導を受ければ才能を伸ばせる選手が選出され、レベルの高い環境の中で指導を受け、トレーニングをすることが目的です。島田一中、島田二中、六合中、初倉中、金谷中、川根中、朝比奈中、島田中の７つの中学校から活躍している選手を選出しており、選出された選手は、トレセンで得た知識や技術をもって所属チームに戻り、チームメイトに良い影響を与えることによって、チーム全体のレベルアップにつなげることも目的の一つとしています。

基本コンセプトとして、①礼儀礼節を重んじ感謝の気持ちを大切にする子どもの健全育成②生涯を通して、サッカーが楽しめる選手を育成し、島田市三種全体のレベルアップを図ることなどを掲げています。高校の先生の指導や能力を高めた選手たち同士での質の高いトレーニングを行っており、「個の技術を磨く～基本技術の精度を上げる～」を育成テーマとし、①プレッシャーの速い中での技術の発揮②選択肢を持った仕掛けとボールへのかかわり方などオンとオフの両方の動きを大切にして指導しています。

また、定期的に近隣の高校と試合を行い高校生のレベルの高いサッカーを体験することで自分の実力を知ると共に技術向上に努めて励んでいます。

島田地区トレセンの選手が上のカテゴリーで活躍できる選手を送り出せるように、また、島田地区がサッカーの盛んな地区になるようにこだわりをもって活動していきます。

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 4
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

高円宮杯JFA U-18サッカープリンスリーグ2018東海

藤枝東高校、藤枝明誠高校が参戦 プレミアリーグ昇格目指す

高円宮杯ＪＦＡ Ｕ－18プリンスリーグ東海が４月７日に開幕した。10チームによる２回戦総当たり戦で争われ、中西部勢では昨年度と同じ藤枝東高校と藤枝明誠高校の２チームが参戦している。12月８日まで行われ、上位２チームがプレミアリーグプレーオフの出場権を得る。また、下位２チームが県リーグへ降格となるがそのチーム数はプレミアリーグとの昇格、降格チームの数で変わる。

昨年度は上位に食い込めなかった両チームだが、今年度は上位進出、そしてプレミアリーグ昇格を目指す。

参加チーム（10チーム）

静岡学園高校
JFAアカデミー福島U18
帝京大学可児高校
浜松開誠館高校
藤枝東高校
清水桜が丘高校
中京大学附属中京高校
藤枝明誠高校
ＦＣ岐阜Ｕ－18
名古屋経済大学高蔵高校

藤枝東高校

藤枝明誠高校

第33回静岡県ヤングサッカーフェスティバル

３試合を実施 中西部６選手が出場

静岡県ヤングサッカーフェスティバルが３月11日に草薙陸上競技場で開催された。Ｕ－16の部、女子の部、男子の部の３試合が実施され、女子の部と男子の部に中西部登録選手が出場した。

Ｕ－16の部

Ｕ－16静岡選抜がＵ－16東京選抜と対戦し、４対１で勝利した。静岡選抜は３月時の中学３年生で構成され、今年の福井国体出場を目指す。まずは６月に始まる東海Ｕ－16前期リーグに向けて強化を図っていく。

女子の部

静岡県女子高校選抜が東京都女子高校選抜と対戦した。好機を作るも得点できず、前半28分の失点で惜敗した。静岡県女子高校選抜は平成29年度の県女子トレセンＵ－18から選出された高校１・２年生で、藤枝順心高校のＤＦ森藤凜、ＧＫ小林直海（以上２年）、ＦＷ甲斐奈菜美、ＭＦ野田幸那（以上１年）の４選手が出場した。

また、この静岡県選抜から21人は３月20日から24日まで台湾遠征も実施した。

写真左から森藤凜、小林直海、甲斐奈菜美、野田幸那の４選手

男子の部

静岡県ユース選抜が、平成29年度の全国高校選手権と全国高校総体出場チームから選考された日本高校選抜と対戦した。静岡県ユース選抜は３月時の高校１・２年生で、１学年上の選手が多い相手から前半29分にＰＫで先制点を奪う。だが、40分に追いつかれ１対１で引き分けた。

静岡県ユース選抜に中西部登録選手では、藤枝東高校のＭＦ田村祐二朗（２年）とＭＦ坂本康汰（１年）の２選手が選出された。

田村祐二朗（左）と坂本康汰の２選手

藤枝明誠の試合日程（4月15日以降の試合のみ）				
	期日	時間	対戦相手	会場
前期	4/21(土)	11:00	静岡学園	草薙球技場
	4/28(土)	14:00	清水桜が丘	藤枝総合運動公園サッカー場
	5/ 5(土)	14:00	浜松開誠館	藤枝総合運動公園サッカー場
	6/23(土)	14:00	JFAｱｶﾃﾞﾐｰ福島	時之栖Ａ
	6/30(土)	11:00	ＦＣ岐阜	藤枝市民Ｇ
	7/ 7(土)	11:30	中京大中京	テラスポ鶴舞イースト
	7/14(土)	11:00	藤枝東	藤枝市民Ｇ
後期	8/25(土)	11:00	帝京大可児	藤枝市民Ｇ
	9/ 1(土)	11:00	名経大高蔵	豊田市運動公園陸上競技場
	9/ 8(土)	14:00	静岡学園	藤枝総合運動公園サッカー場
	9/15(土)	11:00	清水桜が丘	清水総合運動場陸上競技場
	9/22(土)	11:00	浜松開誠館	浜松開誠館総合Ｇ
	10/ 6(土)	11:00	JFAｱｶﾃﾞﾐｰ福島	藤枝市民Ｇ
	11/24(土)	13:00	ＦＣ岐阜	長良川球技メドウ
	12/ 1(土)	14:00	中京大中京	藤枝市民Ｇ
	12/ 8(土)	13:00	藤枝東	藤枝市民Ｇ

藤枝東の試合日程（4月15日以降の試合のみ）				
	期日	時間	対戦相手	会場
前期	4/21(土)	14:00	JFAｱｶﾃﾞﾐｰ福島	時之栖Ａ
	4/28(土)	11:00	ＦＣ岐阜	藤枝総合運動公園サッカー場
	5/ 5(土)	11:00	中京大中京	藤枝総合運動公園サッカー場
	6/23(土)	11:00	静岡学園	藤枝市民Ｇ
	6/30(土)	11:00	帝京大可児	長良川球技メドウ
	7/ 7(土)	14:00	名経大高蔵	テラスポ鶴舞イースト
	7/14(土)	11:00	藤枝明誠	藤枝市民Ｇ
後期	8/25(土)	11:00	清水桜が丘	清水総合運動場陸上競技場
	9/ 1(土)	11:00	浜松開誠館	藤枝市民Ｇ
	9/ 8(土)	11:00	JFAｱｶﾃﾞﾐｰ福島	藤枝総合運動公園サッカー場
	9/15(土)	14:00	ＦＣ岐阜	長良川球技メドウ
	9/22(土)	11:00	中京大中京	パロマ瑞穂北陸上競技場
	10/ 6(土)	11:00	静岡学園	時之栖ＳＣ裾野Ｅ２
	11/23(祝)	11:00	帝京大可児	藤枝総合運動公園サッカー場
	12/ 1(土)	11:00	名経大高蔵	藤枝市民Ｇ
	12/ 8(土)	13:00	藤枝明誠	藤枝市民Ｇ

藤枝市の取り組み

～藤枝MYFCとともに～

藤枝市長　北村 正平

本市は、全国に名の通った「サッカーのまち」であり、市民のサッカーへの関心は非常に高く、競技者のみならず多くの人がサッカーに親しみ、ひとつのスポーツという枠を超えた市の文化として根づいています。市では、こうしたサッカー文化を背景に、サッカーを商業や観光、教育など多様な観点から捉え、サッカーを核としたまちづくりを推進しています。

そうした中、本市を含む志太榛原地域をホームタウンとする藤枝ＭＹＦＣの活躍には、多くの皆さんが注目しています。

藤枝ＭＹＦＣがＪリーグで活躍することで、地域の子どもたちが夢や憧れを持ち、また、アウェイチームのサポーターが数多く来訪することにより、観光振興や地域経済の活性化が期待できます。

さらに、今シーズンのチームスローガンである「一体感」のもと、監督や選手がイベント等に積極的に参加することで、地域との連帯感を深めるとともに、商店街の活性化に繋がるものと考えています。

今後も、藤枝ＭＹＦＣが地域の核となるクラブとして成長していくことを期待するとともに、本市としてもできる限りのサポートをしていきたいと思います。

がんばれ!!　藤枝ＭＹＦＣ!!

藤枝MYFC J3戦記

首位と引き分け

藤枝MYFC VS ガイナーレ鳥取

開幕戦を白星で飾った藤枝ＭＹＦＣ。２節と３節は終盤に勝ち越されて共に１対２で競り負けて足踏みしたが、４節では終盤に決勝点を奪って２対１で勝利した。だが５節ではガンバ大阪Ｕ－23に４失点し、最後に１点を返すにとどまった。この敗戦の反省を踏まえ、ホームに首位を走るガイナーレ鳥取を迎えた。大石篤人監督が「強い相手に対し、下がることなく前からという意識を持って、攻守においてアグレッシブに戦えた」と話す試合は、強敵を無失点に抑えて０対０で引き分けた。ＤＦの裏を狙う相手への対応で大石監督は〝攻守の切り替え〟を挙げ「前線の選手の切り替えが早く、いいボールを相手に蹴らせなかった」ことをポイントの一つとした。しかし、クロスは上がるが決めきれずに無得点で終わったことには満足していない。

高いボール支配率で勝利に期待

第６節終了時点で２勝３敗１分けの勝点７で10位に位置する。だが、ボール支配率では55・５％とリーグ２位につける。高い支配率の中で「ボールを持っていることで守備が多少緩くなっていたところがある」と大石監督。攻撃時は守備を、守備では攻撃を考えることを徹底。６試合を振り返り「相手が藤枝のシステムを利用して背後のボールやカウンターを狙うところは、辛抱できないと負けて辛抱できれば勝ちにつながる。辛抱強さを強めていかなければいけない。攻撃に関しては、クロスの質、中の入り方、クロスと見せかけて中に当てた時のミドルシュート、コンビネーションに更に磨きをかけて、相手がどういう状況になっても動じない攻撃で、見ている人たちがこのサッカーは面白いと思うような相手の裏をつける攻撃の強度をもっと高めて、得点と共に順位を上げていきたい」と上昇に向けた戦いに挑む。

藤枝ＭＹＦＣの試合結果（３月17日～４月８日）

〈第２節〉
●１－２　カターレ富山
〈第３節〉
●１－２　ギラヴァンツ北九州
〈第４節〉
○２－１　鹿児島ユナイテッドFC
〈第５節〉
●１－４　ガンバ大阪Ｕ－23
〈第６節〉
△０－０　ガイナーレ鳥取

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 5

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第47回 全国自治体職員サッカー選手権大会

静岡県予選大会　焼津市役所 準優勝　東海大会出場

全国自治体職員サッカー選手権静岡県予選大会が４月21日、28日に焼津市大井川河川敷運動公園で行われた。中西部では焼津市役所が出場して、１回戦で浜松市役所に後半の岩倉圭佑と梅本洋佑のゴールで勝利。準決勝に進み富士市役所と対戦した。積極的にボールを奪い前線のスペースへ送って相手ゴールに迫る。そして前半29分にＣＫを鈴木達也が決めて先制点を奪う。さらに後半34分の大石哲也のゴールで突き放し、前回まで３連覇していたチームを破って決勝進出と同時に東海大会出場を決めた。

決勝は静岡市役所と対戦し、後半１分に先制を許す。焼津市も５分に岡村和紀のＦＫで追いつくが、残り僅かとなった34分に失点して惜敗し、準優勝となった。

焼津市役所の東海大会出場は、焼津市としては17年（16大会）ぶり、合併前の大井川町役場では13年（12大会）ぶりの出場となる。

試合結果（中西部勢の試合のみ）

〈１回戦〉
焼津市役所　２－０　浜松市役所
〈準決勝〉
焼津市役所　２－０　富士市役所
〈決勝〉
静岡市役所　２－１　焼津市役所

東海大会

焼津市役所が出場する東海大会は６月２日、３日に三重県で行われる。４県の代表２チームずつの８チームで争われ、上位２チームが全国大会の出場権を得る。焼津市役所としては初の、大井川町役場からは13年（12大会）ぶりの全国行きを目指す。

全国自治体職員選手権 東海大会 組み合わせ

6/2(土)　6/3(日)

- 名古屋市役所（愛知1）
- 鈴鹿市役所（三重2）
- AorB①
- 岐阜市役所（岐阜1）
- 焼津市役所（静岡2）
- AorB②
- 伊勢市役所（三重1）
- AorB①
- 土岐市役所（岐阜2）
- 静岡市役所（静岡1）
- 豊田市役所（愛知2）
- AorB②
- A
- A
- A

＜会場＞伊勢フットボールヴィレッジ　Ａ・Ｂピッチ
＜時間＞6/2＝①13:00　②15:00
6/3＝未定

2018年度 静岡県高校総合体育大会 サッカー競技（男子） 中部地区大会

静清、焼津中央、榛原　３校が県大会へ

静岡県高校総体の中部地区大会が４月14日から５月５日まで行われた。藤枝東と藤枝明誠を含むプリンスリーグ所属４校は県大会の出場が決まっており、この４校を除く31校が参加して、１次ラウンドのリーグ戦と２次ラウンドのトーナメント戦で争われ、そして、最後の１枠を争った５位決定戦は大富と島田第一の対戦となり、前半に２点を奪い後半にも１点を加えた島田第一が勝ち、県切符を手にした。

榛原 VS 島田

焼津中央など県Ｕ－18リーグのＡ・Ｂリーグ所属６校と県新人大会上位２校を合わせた８校は、シードで２次ラウンドから参戦。23校が６組に分かれて１次ラウンドを行い、各組の上位２校の12校が２次ラウンドに進んだ。中西部勢では島田工業、静清、島田商業、榛原、島田、藤枝西、島田樟誠の７校が１次ラウンドを突破。そして20校で争われた２次ラウンドで、２回戦を勝ち上がり８強入りした静清、焼津中央、榛原の３校が県大会出場を決めた。

（県大会の組み合わせは２面）

１次ラウンド最終順位

順位	1位	2位	3位	4位
A	清水西	静岡西	川根	――
B	静岡	島田工業	藤枝北	静岡聖光学院
C	静岡東	静岡市立	焼津水産	静岡大成
D	静清	島田商業	城南静岡	駿河総合
E	榛原	島田	清流館	相良
F	藤枝西	島田樟誠	清水国際	金谷

２次ラウンド試合結果

- 常葉大橋
- 島田商業
- 延長 3－2
- 島田樟誠
- 清水西
- 3PK5 0－0
- 焼津中央
- 静岡城北
- 1－1 12PK11
- 静岡
- 静岡東
- 1－1
- 島田
- 東海大静岡翔洋
- 科学技術
- 静岡西
- 藤枝西
- 静清
- 静岡北
- 静岡商業
- 榛原
- 静岡市立
- 1－1
- 島田工業
- 清水東
- 3PK1
- 5PK3
- 5・6位決定戦
- 東海大静岡翔洋 2 － 1 静清
- 7・8位決定戦
- 焼津中央 1 － 1 榛原 8PK7

第47回 松永杯争奪中西部中学生サッカー大会
第39回 静岡県中学生サッカー選手権大会 中西部地区予選

藤枝中学校　８年ぶりの優勝

松永杯争奪中西部中学生サッカー大会が４月14日から５月６日まで行われた。最終日に実施された準決勝で藤枝が小川に、葉梨が高洲にともにＰＫ戦で競り勝ち決勝に進んだ。

決勝は前半早々に杉山大翔が決めて先制した藤枝が押し気味に進める。葉梨も後半５分に北島大輔が押し込み同点とする。だが22分に津島凰希、25分に奥川光翔のゴールで２点を奪った藤枝が３対１で勝利して、８年ぶりの優勝を果たした。

この大会は静岡県中学生選手権大会の予選を兼ね、上位５校が県大会の出場権を得た。小川と高洲の３位決定戦は、２対２の同点でＰＫ戦になり小川が勝利。

決勝トーナメント試合結果

- 藤枝 4 － 0 田
- 藤枝 5 － 0 益津
- 藤枝 2 － 1 富士
- 藤枝 1 － 0 大村
- 藤枝 4 － 1 小川
- 藤枝 1 － 0 金谷
- 藤枝 1 － 0 葉梨
- 藤枝 0 － 0 合（5PK4）
- 藤枝 2 － 1 六合
- 藤枝 1 － 1 島田第二（4PK2）
- 藤枝 2 － 1 青島
- 藤枝 1 － 1 島田第一（4PK3）
- 藤枝 2 － 1 相良
- 藤枝 2 － 2 高洲（4PK3）
- 藤枝 3 － 1 焼津

予選リーグ最終順位

順位	1位	2位	3位	4位
A	藤枝	六合	港	――
B	焼津	豊田	榛原	――
C	葉梨	相良	附属島田	――
D	金谷	島田第二	大井川	――
E	東益津	高洲	西益津	――
F	島田第一	大村	広幡	――
G	青島	吉田	青島北	初倉
H	大富	小川	大洲	川根・中川根

藤枝MYFC J３戦記

静岡ダービーを2,500人超が見守る

5月3日の第9節は、アスルクラロ沼津をホームに迎えての今季最初の静岡ダービーで、2,592人のサポーターが詰めかけた。

試合は、前半16分に右CKを中央から頭で押し込まれ先制を許してしまう。相手にパスをカットされていたが、サイドチェンジなどで繋がりだし、相手ゴールに詰め寄る。だが堅い守りに跳ね返され、後半もミドルシュートを交えて放つも枠に収まらず惜敗した。

「フィニッシュでは足りないところが多かった」と大石篤人監督。それでも「途中から出た選手がリズムを変えたり、面白い攻撃を繰り広げられた」として、前節で首位に立った相手に、シュート数では沼津の11本に対し藤枝は17本と上回る攻撃を見せた。「引き続きぶれずにやっていきたい」と大石監督は藤枝スタイルを貫いていく考えだ。

第10節に６試合ぶりの白星

大型連休最終日の5月6日に行われた第10節は、ホームでY.S.C.C.横浜と対戦した。開始1分、水野泰輔のシュートはポストをたたく。序盤は攻め込んだが「ファウルが多くFKを何度も繰り返された」(大石監督)ことで、徐々に押し込まれ守勢の時間が続いた。そして、21分に左からのパスを押し込まれ先制点を奪われる。「特に前半は」繋ぐことを目的にしてしまった部分があったが、ゴールに向かってサッカーをすることに変えたことが、得点が生まれたポイント」と大石監督があげた後半、まずは31分に大竹隆人のヘディングシュートがポストに当たった跳ね返りを、途中出場の谷口堅三が蹴り込むと、44分にはその谷口がPKを決めて2点を奪って逆転。前節に試合のなかった横浜に対し、4月29日から1週間で3試合を行った藤枝は、疲労の面で不利ではあったが、それをしのいで6試合ぶりの勝利を収めた。

この試合では、開幕前に負った怪我から復帰したキャプテンの浅田大樹が今季初先発で出場し、明るい話題もあり、藤枝の今後の戦いに期待がかかる。

藤枝MYFC VS Y.S.C.C.横浜

藤枝MYFCの試合結果（4月15日～5月6日）

〈第7節〉
●１－２　ザスパクサツ群馬
〈第8節〉
●０－２　福島ユナイテッドFC
〈第9節〉
●０－１　アスルクラロ沼津
〈第10節〉
○２－１　Y.S.C.C.横浜

GO!GO! MYFC　注目選手を紹介

7 水野 泰輔
MF 25歳 愛知県出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

昨年に藤枝に加入して今年２季目となる。昨季はリーグ戦27試合に出場し３得点を記録。今季も10節現在で全試合に出場している。ボランチとして攻守の要となる。

「パスやサイドチェンジなどでのチャンスメイクがプレースタイルの特徴。チームを活性化させるプレーや得意なミドルシュートでチームを勝たせるプレーを心掛けている。ゴールやアシストで得点に絡むプレーをしていきたい」

30 杉本 拓也
GK 28歳 吉田町出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

住吉ＳＳＳ―藤枝明誠ＳＳＣ―藤枝明誠高校と中西部でサッカーを続け、10年ぶりに地元に戻って来た。開幕から10節現在で全試合にフル出場を続ける守護神。

「ＧＫなのでシュートを止めるところと左足のキックを見てほしい。年齢的に真ん中くらいなので、若手とベテランとの懸け橋のようなことをやれたらと思う。地元出身として、ピッチの外でもチームのためになるようなことを発信するなど、積極的にやれたらと思う」

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 6
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

平成29年度 一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部 功労表彰者（敬称略）

功労賞	深津 三郎　中西部支部会長	鎌田 昌治　中西部支部副会長	
	紅林 豊　中西部支部副理事長	田村 和彦　中西部支部技術委員長	
	田村 幸司　中西部支部２種委員長	児玉 純子　中西部支部女子委員長	
	鈴木 功男　中西部支部シニア委員長		
優秀指導者	尾白 幸生　藤枝フットボールクラブ監督		
	第５回全国シニア(40歳以上)サッカー大会		準優勝
	蒔田 大　中西部選抜(O-35)監督		
	第24回静岡県(O-35)サッカー選手権大会		優勝
	鈴木 雄介　島田第二小サッカースポーツ少年団監督		
	2017年度東海フットサルフェスティバル(U-12)		準優勝
優秀選手	松浦 孝太・吉井 諒　静岡県選抜(大和撫子)		
	第33回全国選抜フットサル大会		準優勝
	篠崎 鉄太・横田 海斗　静岡県選抜(Hero FC U18F)		
	CAViC CUP ユースフットサル選抜トーナメント2018		準優勝
優秀団体	藤枝市役所サッカー部		
	第46回全国自治体職員サッカー選手権大会		優勝
	中西部選抜(O-35)		
	第24回静岡県(O-35)サッカー選手権大会		優勝
	島田第二小サッカースポーツ少年団		
	2017年度東海フットサルフェスティバル(U-12)		準優勝
	藤枝順心ＳＣジュニア		
	第31回全国少年少女草サッカー大会		３位
	2017フジパンCUPユースU-12サッカー大会(少女の部) 静岡県大会		優勝
	2017フジパンCUPユースU-12サッカー大会(少女の部) 東海大会		準優勝
	藤枝順心ＳＣジュニアユース		
	第８回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会 静岡県大会		優勝
	藤枝順心高校サッカー部		
	平成29年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技 静岡県大会 女子		優勝
	平成29年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技 東海大会 女子		優勝
	平成29年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技 全国大会 女子		準優勝
	第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 静岡県大会		優勝
	第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 静岡県大会		優勝
	第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会		優勝
	平成29年度静岡県高等学校女子新人サッカー大会		優勝
	藤枝ＦＣ(O-40)		
	第５回全国シニア(40歳以上)サッカー大会		準優勝
	大和撫子		
	第23回全日本フットサル選手権大会静岡県大会		優勝
	Ｈｅｒｏ ＦＣ U18F		
	第４回全日本ユース(U-18)フットサル大会 東海大会		優勝

平成30年度 一般財団法人静岡県サッカー協会 中西部支部 総会 開催

一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部の平成30年度の総会が、5月19日に小杉苑で開かれた。深津三郎前会長の挨拶で始まり、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の事業計画と収支予算に役員改選が議事として説明され、質疑応答のうえ承認された。そして最後に、昨年度に好成績を収めた選手、チームなどの表彰が行われた。

役員改選では、新会長に大塚博巳氏が就任し、総会後のパーティーでの挨拶で、W杯に出場する長谷部誠選手の活躍への期待、夏の全国高校総体女子サッカー競技の藤枝開催や中西部支部50周年記念事業への協力、J3藤枝MYFCの応援などについて述べられた。

長谷部誠選手 3回目のW杯へ

W杯ロシア大会が6月14日に開幕する。それに出場する日本代表選手23名が5月31日に発表され、藤枝市出身の長谷部誠選手（アイントラハト・フランクフルト（ドイツ））が選出され、3大会連続のW杯出場が決まった。ポラン チやセンターバックでの出場が予想される長谷部選手。グループステージはコロンビア、セネガル、ポーランドという強豪国との対戦であるが、セカンドステージ（トーナメント戦）進出を目指す日本代表の支柱としての期待が高まる。

グループステージ 日本の試合日程

期日	開始時間（日本時間）	対戦相手
6/19(火)	15：00(19日21：00)	コロンビア
6/24(日)	20：00(25日 0：00)	セネガル
6/28(木)	17：00(28日23：00)	ポーランド

平成30年度 静岡県高校総合体育大会 サッカー競技

男子 藤枝東 11年ぶり11回目の優勝 13回目の全国へ
女子 藤枝順心 7年連続13回目の優勝 7大会連続で全国へ

静岡県高校総合体育大会サッカー競技は、男子・女子ともに決勝が6月3日にエコパスタジアムで行われた。

男子は藤枝東が清水桜が丘を延長戦にまで及ぶ接戦を制して5対3で破り、11回目の優勝で13回目の全国大会出場を決めた。

女子は藤枝順心が常葉大橘に後半に奪った1点で勝利し、7年連続13回目の優勝で、今年は地元藤枝開催となる全国総体に7大会連続出場を決めた。

結果の詳細及び東海大会の組み合わせは2面に掲載

一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部 平成30年度重点目標

1. 全国大会の開催・運営
皇后杯全日本女子サッカー選手権大会
藤枝総合運動公園サッカー場ほか

2. 普及・強化
当地区においては低年齢層から高齢者まで幅広くサッカーが普及しております。ＪＦＡの47ＦＡ交付金を活用し、当地区チームが県大会での上位進出、ならびに全国大会に出場し上位進出できるようにサポートしていきます。また、地域住民の関心を高め生涯スポーツとしてサッカーの普及に取り組みます。

3. 指導者のレベル向上
サッカーの技術の向上とともに、日常生活のルールとマナーを守る選手を育てられる指導者づくりを目指します。

4. 審判員の養成と技術の向上
サッカーのレベルアップのためには審判員の技術向上が不可欠です。リスペクト精神を奨励し選手とともに試合を作り上げ、当地区のサッカーレベル向上のために良い審判員の養成を目指します。

5. ウェルフェアオフィサーの推進
リスペクト、フェアプレーの考え方についての理解、ウェルフェアオフィサーについての理解をし、暴力(言葉の暴力)の予防活動に努めます。指導者として役目を再確認し選手の能力や可能性を伸ばす環境づくりに取り組みます。試合会場におけるウェルフェア、自チームにおけるクラブ・ウェルフェアオフィサーを設置します。

GO!GO! MYFC 注目選手を紹介

17 阿渡 真也
DF 28歳 神奈川県出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

今季にＪ２金沢から移籍加入し、開幕から12節現在でフィールドプレーヤーでは唯一、全試合にフル出場を続ける。プレーを真面目に学ぶムードメーカー（大石監督談）。３バックの両サイドを任される。

「対人で負けないこと、ＤＦ陣３人で相手ＦＷをはがしてどう崩せるかを意識してプレーしている。対人プレーや（長身選手にも負けない）ヘディングを見てほしい。ビルドアップは以前よりは慣れてきたので、もっとうまくなるように頑張ります」

5 浅田 大樹
DF･MF 29歳 東京都出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

藤枝で３年目となる今季はキャプテンを任される。開幕前の怪我で出遅れたが、４月22日の天皇杯県予選で途中出場。リーグ戦は５月６日の第10節で先発復帰を果たし、12節までの出場試合は３連勝。ウイングバックやサイドバックも務める。

「キャプテンとしてチーム全体や試合でも落ち着かせることを求められていると思うので、もっと活かして連勝したい。ボールを落ち着かせながら、ビルドアップなどのボールのつなぎで特徴を活かしていきたい」

藤枝MYFC Ｊ３戦記
今季初の３連勝

第11節のグルージャ盛岡戦で、前節に逆転の２ゴールを挙げた谷口堅三のハットトリックなどで、今季１試合最多の４得点で勝利した藤枝ＭＹＦＣ。

続く第12節は６月２日、ホームにＳＣ相模原を迎えた。開始４分にオウンゴールで先制を許す。この失点で前半は思うようなゲーム運びができなかったが、相手のシステムに合わせて藤枝もシステムを変えて臨んだ後半は「躍動感を持ってゴールに迫って行った」（大石篤人監督）。そして、13分に水野泰輔の後方からのパスに岩渕良太が頭で合わせて同点ゴール。さらに45分には左サイドの齊藤隆成のロングクロスに、再び岩渕が抜け出してＧＫより一瞬早くボールを蹴り、逆転弾を決めた。これまで勝っていなかったＳＣ相模原に初勝利し、今季初の３連勝となった。

藤枝には少なかったＤＦ背後を突いた得点に、大石監督は今までのクロスからの得点にこの新しい形が加わることで、得点の回数が増えることを期待している。

藤枝ＭＹＦＣの試合結果（5月20日・6月2日）
〈第11節〉
○４－０　グルージャ盛岡
〈第12節〉
○２－１　ＳＣ相模原

藤枝MYFC　VS　SC相模原

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 7
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

2018 彩る感動 東海総体
全国高校総合体育大会サッカー競技

女子

会場に足を運んで大会を盛り上げよう

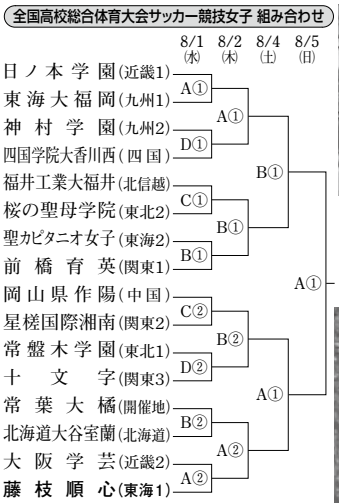
藤枝市で開催

全国高校総体のサッカー競技女子が、7月31日から8月5日まで藤枝市で開催される。全国9地域の代表15校と開催地（静岡県）代表1校を合わせた16校によるトーナメント戦で争われる。初日に藤枝市民会館で開会式を行い、競技は藤枝総合運動公園内の3会場と藤枝市民グラウンドで8月1日に1回戦、2日に準々決勝、一日の休養日を挟んで4日に準決勝、5日に決勝が行われる。夏の女王が決まるこの大会を、会場に足を運んで盛り上げよう。

藤枝順心高校 7年連続出場

藤枝順心が7年連続で出場する。東海大会で1位となった藤枝順心は、前回大会4強の地域上位代表が得るシード枠に入った。開催地代表で常葉大橘の出場も決まり、ともに1回戦で勝利すれば2回戦で対戦することになる。見逃せない試合が続くこの大会。藤枝順心は2年ぶりの優勝を目指して、地元開催の全国総体に挑む。

全国高校総合体育大会サッカー競技女子 組み合わせ



＜会場＞A：藤枝総合運動公園サッカー場
B：藤枝総合運動公園陸上競技場
C：藤枝総合運動公園多目的広場(人工芝)
D：藤枝市民グラウンド
＜時間＞①10：00　②12：30

第64回 東海高校総合体育大会 サッカー競技女子

藤枝順心高校が7連覇 東海1位のシード枠を獲得

東海高校総合体育大会のサッカー競技女子は6月16日、17日に愛知県名古屋市で行われた。藤枝順心が出場し、昨年の全国大会準優勝により得たシード枠が東海1位に与えられるため、そのシード枠獲得を目指した。

4県の代表4校がリーグ戦で争い、藤枝順心は初戦で聖カピタニオ女子と対戦。前半32分に相手GKのミスを突き、柳瀬楓菜が決めて先制する。だが後半25分にパスをカットされてロングシュートで追いつかれ、そのまま引き分けた。2戦目の帝京大可児には、相手にシュートを1本も許さなかったが得点が奪えずスコアレスドロー。2戦を終えて勝ち点は2で、帝京大可児と並び2位。聖カピタニオ女子が勝利して勝ち点を4に伸ばし首位となり、東海1位の座を諦めかけた第3戦。三重との試合は開始1分に金子真優のゴールで先制すると、35分に野嶋彩未が決めて2点のリードで折り返す。後半も1分に金子、6分に長江伊吹が追加点を奪い、4対0で勝利。聖カピタニオ女子が引き分けて勝ち点5で並んだため、得失点差で上回り、藤枝順心は辛くも1位になり7連覇して、シード枠を獲得した。

試合結果

	順心	カピタニオ	帝京可児	三重	勝点	得失差	順位
藤枝順心		△1-1	△0-0	○4-0	5	4	1
聖カピタニオ女子	△1-1		△1-1	○2-1	5	1	2
帝京大可児	△0-0	△1-1		△0-0	3	0	3
三重	●0-4	●1-2	△0-0		1	-5	4

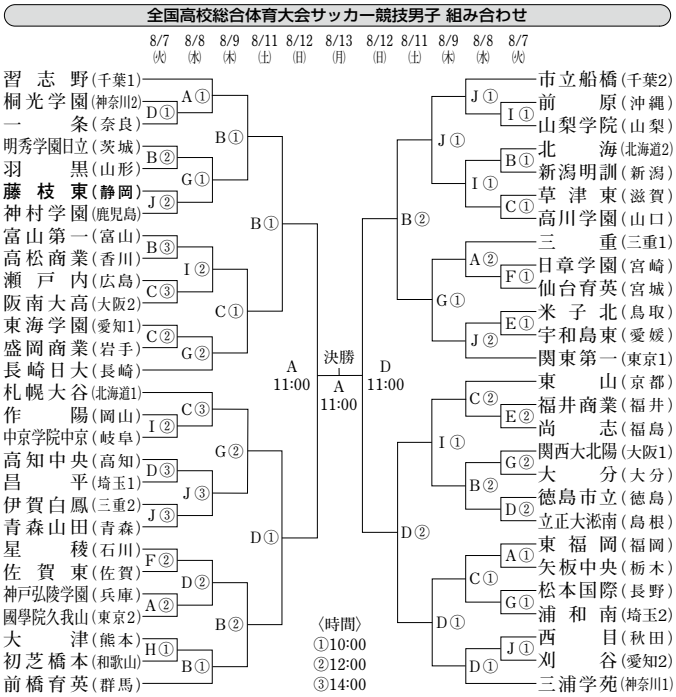
男子

目指せ 全国制覇!

藤枝東高校が11年ぶり13回目の出場

藤枝東が11年ぶりとなる全国総体に臨む。サッカー男子は三重県で開催され、8月7日に始まり13日に決勝が行われる。初戦は神村学園との対戦となった藤枝東は、13回目の出場で47年ぶり3回目の全国の頂点を目指す。（関連記事4面）

全国高校総合体育大会サッカー競技男子 組み合わせ



＜会場＞三重交通Gスポーツの杜鈴鹿　A：メイングラウンド　B：第2グラウンド　C：第4グラウンド
四日市市中央緑地　D：陸上競技場　E・F：フットボール場A・Bフィールド
伊勢フットボールヴィレッジ　G・H・I：A・B・Dピッチ　J：上野運動公園競技場

藤枝MYFC J3戦記

前半戦を暫定10位で折り返す

6月23日の第15節セレッソ大阪U－23戦は、前半9分に右サイドでつないで水野泰輔が決めて先制すると、31分にGKのミスキックから失点するも、後半10分にカウンターでDF裏に抜けた遠藤純輝が決め勝ち越して、2試合ぶりに勝利した。

6月30日の第16節はホームでFC東京U－23と対戦。前半23分に岩渕良太の右CKを養父雄仁が決めて先制する。その後も好機を作るが追加点を奪えずにいると、後半38分に追いつかれ引き分けた。前半戦最後となる第17節は7月7日にアウェイで2位につけるFC琉球と対戦し、3失点で敗れた。

天候の影響で未消化試合のあるチームもあるため暫定ではあるが、藤枝MYFCは6勝2分8敗の10位で前半戦を終えた。総括として大石篤人監督は「攻められる時間に辛抱強く耐えること」や「2点3点と畳み掛けること」ができず、敗れた試合が多いことを課題に、好材料としては「足元ができる選手の中から背後に抜ける選手と前の組み合わせ」が面白くなってきた」ことを挙げた。そして「今やっていることの強度を高めて」（大石監督）後半戦に挑む。

藤枝MYFC　VS　FC東京U-23

藤枝MYFCの試合結果（6月16日～7月7日）

〈第14節〉●0－1 ブラウブリッツ秋田
〈第15節〉○2－1 セレッソ大阪U－23
〈第16節〉△1－1 FC東京U－23
〈第17節〉●0－3 FC琉球

7月21日は藤枝市民DAY

7月21日の第19節カターレ富山戦では「藤枝市民DAY」を開催する。試合当日、藤枝市民（在住）にはA自由席一般を500円の優待価格で販売。また、小・中・高校生は藤枝市民に限らず全て無料招待され、A自由席で観戦できる。14時から正面広場で受け付けを開始（14時30分開門）。藤枝市民や中学生・高校生は学生であることを証明できるものの提示が必要。

中西部4種が前座試合

この試合前には中西部4種（小学生）の選手による前座試合が行われる。15時キックオフ予定。

全国高校総体壮行会を実施

ハーフタイムには今夏の全国高校総体に出場する藤枝東高校と藤枝順心高校の両サッカー部の壮行会が行われる。

GO!GO! MYFC 注目選手を紹介

8 岩渕 良太
MF 28歳 東京都出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

今季に盛岡から移籍加入。17節現在で全試合に出場し、第12節の相模原戦では逆転の2ゴールを決めるなどで3得点を記録している。1.5列目のシャドーと言われるポジションでプレー。

「チャンスに絡むというか、チャンスを作るアイデアやプレーの質が特徴だと思う。（意識していることは）どうすれば相手を騙しながらシュートまで持って行けるか、駆け引きの部分や相手の心理まで考えてシュートまで行くところが面白いと思う」

4 秋山 貴嗣
DF 25歳 香川県出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

今季に鳥取から移籍加入。第17節までの16試合で15試合に出場している。3バックの主に左サイドを務め、第4節の鹿児島戦で1得点を記録。

「気持ちのこもったプレーを（見てほしい）、DFなので一番持たないと駄目だから。ヘディングが強くカバーリングもできて配球も良いという、バランス良くレベルが高いプレーをしたい。前に強くボールを取りに行くことや、ウィングバックにボールが入った時の攻撃参加など（を求められている）」

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 8
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

2018 彩る感動 東海総体
平成30年度全国高校総合体育大会 サッカー競技

女子　藤枝での開催を無事終了

東海地域で開催された今年の全国高校総体。サッカー競技女子は7月31日から8月5日まで、藤枝市で総合運動公園や市民グラウンドを会場に行われた。県内高校部の指導者と藤枝市の職員を中心に運営され、多くの高校サッカー部員なども受付やボールパーソンに担架係などの役割を担った。

猛暑に対する対応としても両ベンチに霧が噴出する扇風機を設置したり、前後半でそれぞれ3分間のクーリングブレイクの後、終了までの間に1分間の飲水タイムと取る対応が取られた。また、2回戦〈準々決勝〉では1回戦で体調を崩した選手がいたため、急遽2試合目の開始時間を12時30分から15時に変更した。それでも大きな問題はなく、6日間の運営を無事に終え、決勝で日ノ本学園を破った常盤木学園の初優勝で幕を閉じた。

担架係の藤枝西高校女子サッカー部員（左）

表彰式での補助を務めた清流館高校女子サッカー部員（下）

藤枝順心 準決勝で涙 3位に

7月31日に行われた開会式では藤枝順心の木稲瑠那主将が選手宣誓を行った。冒頭には藤枝のサッカーの歴史を織り込み「サッカー王国静岡、サッカーのまち藤枝で全国大会が開催されることを誇りに思い、この素晴らしい舞台でプレーできる喜びをかみしめ、母校の誇りと輝く未来のために正々堂々と戦うことを誓います」。そして試合では、在校生や地元の応援を背に戦った。

大阪学芸との1回戦はボールを支配し、後半9分に小原蘭菜のクロスを柳瀬楓菜が蹴り込み、この1点で勝利した。常葉大橘との県勢対決となった2回戦は押し気味に進め前半24分に金子麻優のスルーパスで抜け出た野嶋彩未が決めて先制。押し込まれる場面もあったが得点は許さず逃げ切った。

そして迎えた準決勝の相手は常盤木学園。セカンドボールを奪い前半から優位に進める。だがシュートが枠に弾かれるなどで決定機に決められない。すると終盤に相手の攻撃を許し、PK戦突入かと思われたアディショナルタイムも7分過ぎに、相手の放ったシュートがDFに当たりゴール右隅へ決まってしまった。藤枝順心の連覇の夢は叶わず3位となった。

地元開催のプレッシャーを感じながらも、木稲主将は「応援が力になった」と話していたが一歩及ばなかった。決定力不足を大会前から危惧し、2回戦までは相手の攻撃をしっかり押えて1点を取って勝ったが、準決勝ではその1点が遠かった。

試合結果

〈1回戦〉
藤枝順心 1―0 大阪学芸
〈準々決勝〉
藤枝順心 1―0 常葉大橘
〈準決勝〉
常盤木学園 1―0 **藤枝順心**

男子　藤枝東 2回戦PK戦で惜敗

サッカー男子は三重県で開催され、試合は8月7日から13日まで行われた。11年ぶりに出場した藤枝東は1回戦で神村学園と対戦。「守備で前からボールを奪い、ボールを動かしてゲームを作れた」と小林公平監督が話す試合運びで、相手にはプレスをかけて思うようにつながせなかった。前半10分に井上燎哉のシュートがGKに弾かれたこぼれ球を平尾拳士朗が押し込み先制。後半15分には井上が2点目を奪い、終了間際に1点を返されるが、そのまま逃げ切った。

明秀学園日立との対戦となった2回戦は、相手のゴールに迫るも固い守りに阻まれ得点を奪えない。「最後が崩しきれなかった」と小林監督。スコアレスのままPK戦に入り、3人が止められ1対3で惜しくも敗れた。

全国総体を経験し小林監督は「グループではできているので、個で崩せるようにしたい。最後は個の勝負になるので」と、選手権に向けた課題も明確になった。

試合結果

〈1回戦〉
藤枝東 2―1 神村学園
〈2回戦〉
明秀学園日立 0―0 **藤枝東**
（PK3―1）

藤枝市役所 5年連続32回目の優勝　第47回全国自治体職員サッカー選手権大会

全国自治体職員サッカー選手権大会が8月4日から8日まで大分県別府市などで行われ、藤枝市役所が5年連続32回目の優勝を果たした。

藤枝市役所は1回戦から決勝までの全5試合を無失点で勝ち抜いた。準々決勝の大分県庁には8本のシュートを許しているが、準決勝では鎌倉市役所のシュートは0。17大会ぶりに決勝で対戦した藤沢市役所にも打たれたシュートはわずかに3本と、力の差を見せつけてた。またゴールも5試合でFW高橋祐樹が6得点を挙げたのを筆頭に10人が記録した。交代出場した選手が決めるなど、隙のない戦いを見せた。

試合結果

〈1回戦〉
藤枝市役所【得点者】秋田賢吾、高橋祐樹3、鈴木蒼太朗 5―0 前橋市役所
〈2回戦〉
藤枝市役所【得点者】田山翔2、林内秀樹、齋藤哲、吉野宏彰 5―0 福沢市役所
〈準々決勝〉
藤枝市役所【得点者】中村龍一郎、高橋祐樹、秋田賢吾 3―0 大分県庁
〈準決勝〉
藤枝市役所【得点者】和田直己、オウンゴール、林内秀樹 3―0 鎌倉市役所
〈決勝〉
藤枝市役所【得点者】高橋祐樹2、森川龍乃介2、秋田賢吾 5―0 藤沢市役所

藤枝MYFCの後半戦（第20節～第34節）試合日程（開催日の▭はホームゲーム）

節	開催日	時間	対戦相手	会場
20	8/26(日)	15:00	ブラウブリッツ秋田	あきぎんスタジアム
21	9/ 2(日)	17:00	FC琉球	藤枝総合運動公園サッカー場
22	9/ 9(日)	17:00	AC長野パルセイロ	長野Uスタジアム
23	9/16(日)	17:00	セレッソ大阪U-23	藤枝総合運動公園サッカー場
24	9/22(土)	13:00	アスルクラロ沼津	愛鷹広域公園多目的競技場
25	9/29(土)	18:00	ギラヴァンツ北九州	ミクニワールドスタジアム北九州
26	10/ 7(日)	13:00	グルージャ盛岡	藤枝総合運動公園サッカー場
27	10/13(土)	13:00	ガンバ大阪U-23	藤枝総合運動公園サッカー場
28	10/20(土)	13:00	Y.S.C.C.横浜	ニッパツ三ツ沢球技場
29	10/28(日)	15:00	FC東京U-23	味の素フィールド西が丘
30	11/ 3(土)	13:00	福島ユナイテッドFC	藤枝総合運動公園サッカー場
31	11/11(日)	13:00	SC相模原	相模原ギオンスタジアム
32	11/17(土)	13:00	鹿児島ユナイテッドFC	藤枝総合運動公園サッカー場
33	11/24(土)	13:00	ザスパクサツ群馬	藤枝総合運動公園サッカー場
34	12/ 2(日)	13:00	ガイナーレ鳥取	とりぎんバードスタジアム

藤枝MYFC J3戦記
シュート少なく引き分け

7月21日の第19節はカターレ富山とホームで対戦した。藤枝MYFCは徐々にペースをつかみボールをつなぐも、シュートは少なく前半で記録は2本。後半の序盤も攻勢に出て相手ゴールに詰め寄るが得点できず。すると半ばあたりから相手に押し込まれるようになり、それでもDF陣が踏ん張り失点を防いだ。後半もシュート3本に終わり、無得点の引き分けに終わった。これにより3戦連続勝ちがなく14位に後退した。

リーグ戦は一時中断し、8月26日のブラウブリッツ秋田とのアウェイ戦で再開する。今後の巻き返しに期待したい。

藤枝MYFCの試合結果（7月21日）
〈第19節〉
△0―0 カターレ富山

中西部4種が前座試合

藤枝市のシティ・プロモーションの一環で市との協力により「藤枝市民DAY」として行われたこの日、試合前には藤枝トレセンの6年生同士の試合と、4年生の榛原トレセン対島田トレセンの試合が行われ、子どもたちが元気にプレーした。

監督交代 石崎信弘氏が新監督に就任

© 2018 FUJIEDA MYFC

大石篤人監督と増嶋真也コーチの退任が7月24日に発表された。そして新たにJリーグの川崎や清水などの監督を歴任した石崎信弘氏の監督就任が決まった。

石崎氏はチームを通して「微力ながら持てる力を全て発揮し、当初の目標5位以内を目指し頑張りたい。チームスローガンである『一体感』で選手、スタッフ、サポーターと共にベストを尽くすので、応援をよろしくお願いいたします」とコメントした。7月30日の練習再開から指揮を執り、リーグ再開後の20節、秋田戦が初采配となる。

今季も小学生の夢パス発行

藤枝MYFCは今季も中西部支部内小学校の全児童が、ホームゲームを無料で観戦できるパスポート「夢パス」を発行する。夢パスパートナー企業の協力によるもので9月2日の第21節から利用可能となる。これに先立ち各小学校には「夢パス申込書」が配布された。地元出身の北川滉平選手と杉本拓也選手がそれぞれ母校の初倉小学校と住吉小学校などを訪れて、子どもたちに申込書を手渡した。新監督の下、どのような戦いを見せてくれるのか注目が集まるMYFCをみんなで応援に行こう!!

GO!GO! MYFC 注目選手を紹介

13 大竹 隆人
MF FW 30歳 東京都出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

昨季に町田から加入し、1年目は32試合中28試合に出場し3得点を記録。2季目の今季も16試合に出場。1.5列目のシャドーでプレーし、第3節の北九州戦で1得点したが、この得点数には満足していない。

「ボールのある所に係わって、攻撃のチャンスに絡んでいくプレーを見てほしい。やっているポジションからすれば得点しなければいけないし、得点に係わるプレーを1試合に1点はしなければいけない。そこは課題で、拘っていきたい」

15 養父 雄仁
DF MF 34歳 神奈川県出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

今季、長崎から移籍加入。第19節までの17試合で13試合に出場し、11節の盛岡戦と16節のFC東京U-23戦で2得点を記録。ボランチや前半戦途中からはセンターバックでの出場が続く。選手内では年長者の一人。

「今までやってきた経験や対戦相手の引き出し（情報）を出して伝えて、攻守に置いて落ち着きを持たせられるプレーをしたい。攻撃参加は成長したいことの一つで、いろんな形で攻撃に関与できればいいなと思っている」

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 9
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

国民体育大会 第39回東海ブロック大会 サッカー競技
静岡県選抜 全種別で本大会出場権獲得

国民体育大会の東海ブロック大会が８月18日、19日に岐阜県大垣市で行われた。静岡県は少年男子、成年男子、女子の部にそれぞれ県選抜が出場し、全種別で本大会の出場権を獲得した。

成年男子

本大会の出場枠が２県で、１試合を勝てば本大会出場が決まる今回、静岡県はＦＣ岐阜ＳＥＣＯＮＤ単独チームの岐阜県と対戦した。「前半はシンプルに相手の裏を突いてシュートまで繋げた」と河村憲生監督が話す展開で、開始４分に鈴木侃太のパスを抜けた高橋祐樹が蹴り込み先制。９分にも追加点を奪って２点のリードで折り返す。だが、後半22分に連携ミスを突かれて失点すると、流れは相手に傾き26分に追いつかれてしまう。しかし、29分にＣＫで畑直樹が自身のシュートの跳ね返りを押し込み勝ち越しゴールを奪い、そのまま逃げ切った。

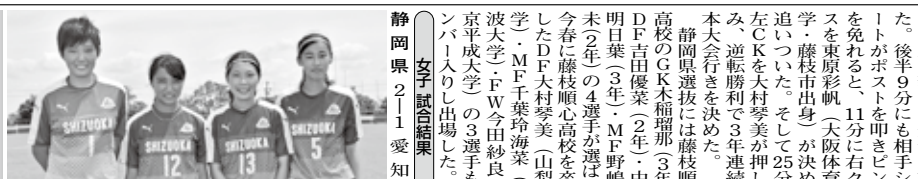
２年ぶりに本大会出場を決めた静岡県選抜は今回、ＪＦＬホンダの２選手に多くは東海や県リーグの社会人選手で構成された。中西部勢では12名（ＧＫ大石健太・ＤＦ原口祐次郎・登崎雅貴・ＭＦ鈴木貴也・ＦＷ畑直樹（以上、矢崎バレンテＦＣ）・ＭＦ鈴木侃太・森川龍乃介・村松一樹・ＦＷ高橋祐樹・和田直己（以上、藤枝市役所）・ＤＦ大村海太（芙蓉クラブ／藤枝東高校コーチ）・ＭＦ河村憲生（監督兼／藤枝東ＦＣシニア）が選出された。また、バックアップメンバーとしてＭＦ中村龍一郎（藤枝市役所）が帯同した。

成年男子 試合結果
静岡県 ３－２ 岐阜県

女子

女子も出場枠２県で、本大会出場がかかった一戦で愛知県選抜と対戦した。ボールを支配し優勢に進めるが、堅く守る相手を崩しきれない。すると前半12分にＤＦとＧＫの連携ミスからボールを奪われ先制を許した。後半９分にも相手シュートがポストを叩きピンチを免れると、11分に右クロスを東原彩帆（大阪体育大学・藤枝市出身）が決めて追いついた。そして25分に左ＣＫを大村琴美が押し込み、逆転勝利で３年連続の本大会行きを決めた。

静岡県選抜には藤枝順心高校のＧＫ本稲瑠那（３年・ＤＦ吉田優菜（２年・中村明日葉（３年）・ＭＦ野嶋彩未（２年）の４選手が選ばれ、今春に藤枝順心高校を卒業したＤＦ大村琴美（山梨大学）・ＭＦ千葉玲海菜（筑波大学）・ＦＷ今田紗良（帝京平成大学）の３選手もメンバー入りし出場した。


左から木稲瑠那、吉田優菜、中村明日葉、野嶋彩未

女子 試合結果
静岡県 ２－１ 愛知県

少年男子

東海Ｕ－16リーグ前期の順位で国体東海大会の組み合わせが決まり、２勝１敗で岐阜県と並び得失点差で２位になった静岡県は、１位の岐阜県と公式戦で対戦した。勝てば本大会出場が決まるこの試合で、静岡県は前半３分に青島健大（清水エスパルスユース・藤枝市出身）のＣＫを池端今汰（ジュビロ磐田Ｕ－18）が頭で合わせて奪った１点で競り勝った。

少年男子 試合結果
静岡県 １－０ 岐阜県
（国体本大会の組み合わせは２面）

2018 SBSカップ 国際ユースサッカー
静岡ユースで 坂本康汰選手出場

ＳＢＳカップ国際ユースサッカーが８月16日、17日、19日に藤枝総合運動公園サッカー場などで開催された。パラグアイとオーストラリアに日本のそれぞれＵ－18代表、そして静岡ユースを合わせた４チームによるリーグ戦で争われた。静岡ユースは初戦でパラグアイに先制を許すが終了間際に追いつきＰＫ戦で競り勝つも、日本とオーストラリアには共にスコアレスのＰＫ戦で敗れて、勝ち点４で３位となった。

静岡ユースには藤枝東高校２年の坂本康汰が選ばれ、パラグアイ戦とオーストラリア戦にトップ下やボランチで出場した。海外チームとの対戦で「特にカウンターの速さ」を感じたと言う。この経験をチームでも活かすつもりだ。

MF 坂本 康汰（藤枝東高校２年）

試合結果

	パラグアイ	日本	静岡	オーストラリア	勝点	順位
U-18 パラグアイ代表		○2-1	▲1-1 8PK9	○3-0	7	1
U-18 日本代表	●1-2		△0-0 3PK2	○1-0	5	2
静岡ユース	△1-1 9PK8	▲0-0 2PK3		▲0-0 3PK4	4	3
U-18 オーストラリア代表	●0-3	●0-1	△0-0 4PK3		2	4

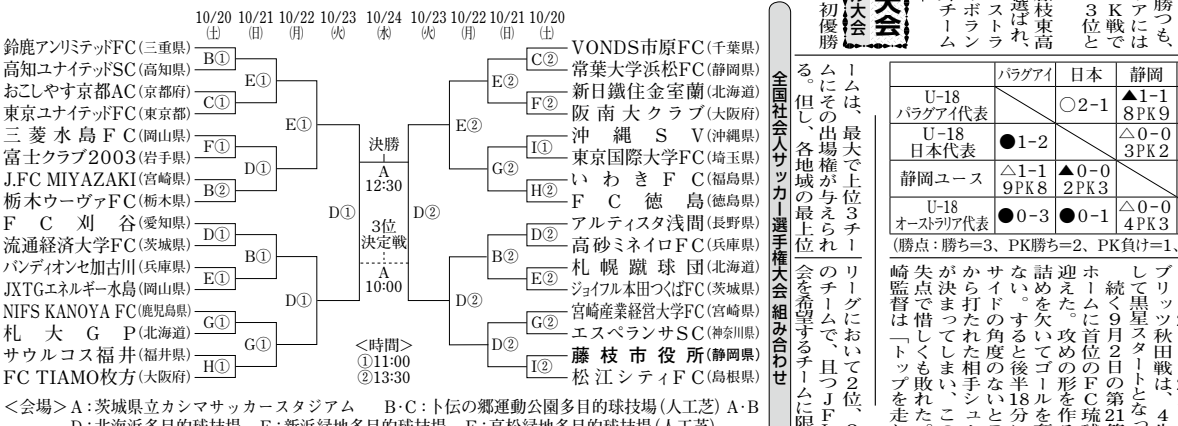
（勝点：勝ち=3、PK勝ち=2、PK負け=1、負け=0）

第54回全国社会人サッカー選手権大会 いきいき茨城ゆめ国体サッカー競技リハーサル大会
藤枝市役所が５年ぶりに出場

全国社会人サッカー選手権大会が10月20日から24日まで茨城県で開催され、藤枝市役所が５年ぶりに出場する。全国９地域と開催県代表の32チームによるトーナメント方式で争われる。藤枝市役所の初戦の相手は前回大会で準優勝し今季の中国リーグで首位を走る松江シティＦＣとなった。敵だがここを破って上位進出を、そして初優勝を目指す。

なお、優勝から４位までの中で、11月に行われる全国地域チャンピオンズリーグの出場権を得ていないチームは、最大で上位３チームにその出場権が与えられる。但し、各地域の最上位リーグにおいて２位、３位のチームで、且つＪＦＬ入会を希望するチームに限る。

全国社会人サッカー選手権大会 組み合わせ



<会場>A：茨城県立カシマサッカースタジアム　B・C：卜伝の郷運動公園多目的球技場（人工芝）A・B
D：北海浜多目的球技場　E：新浜緑地多目的球技場　F：高松緑地多目的球技場（人工芝）
G：ひたちなか市総合運動公園陸上競技場　H・I：ひたちなか市総合運動公園スポーツ広場A・B

藤枝MYFC J3戦記

約１か月の中断が開けた石崎信弘新監督の下で再開した８月26日の第20節ブラウブリッツ秋田戦は、４失点して黒星スタートとなった。

続く９月２日の第21節はホームに首位のＦＣ琉球を迎えた。そこで得点が取れずリズムに乗っていけないのではないか。前節よりは成長してきていると思う。ただ勝つためにはもっとフィジカル、個人技術、個人戦術が決まってしまい、この１失点で惜しくも敗れた。石崎監督は「トップを走り得点力のあるチームに対して、ある程度はバランスよく守れて、チャンスも両サイドから作れていたのでは。ただ、そこで得点が取れずリズムに乗っていけないのではないか。前節よりは成長してきていると思う。ただ勝つためにはもっとフィジカル、個人技術、個人戦術も上げていかなければいけない。来た時に一番感じたのが、攻守にプレーが消極的。ボールは持てるが前に進まないところを、攻撃で前に動かせるような意識づけをしている。一か月前より勇気をもって失敗を恐れずに、失敗したら次の人がカバーするチャレンジ＆カバーもだいぶできていると思う」と話した。

藤枝MYFC　VS　FC琉球

藤枝ＭＹＦＣの試合結果（８月26日～９月９日）
〈第20節〉
●０－４　ブラウブリッツ秋田
〈第21節〉
●０－１　ＦＣ琉球
〈第22節〉
●０－４　ＡＣ長野パルセイロ

４種が前座試合

７月21日の第19節に続き９月２日の21節琉球戦でも４種の選手たちが前座試合を行った。今回は５年生の焼津トレセン同士と、大洲対六合東の試合が行われた。

２選手が移籍加入

８月に昨年まで藤枝に在籍したＦＷ遠藤敬佑選手（29歳）がカターレ富山から完全移籍で復帰。またＭＦ出岡大輝（24歳）がザスパクサツ群馬から期限付き移籍で加入した。ともに中断明けの秋田戦で先発出場した。

９月９日22節のＡＣ長野パルセイロ戦は、シュート数では上回るもＣＫで３点を奪われ４失点して敗れた。17節以降は得点がなく、勝利と共に次節に期待したい。

GO!GO! MYFC 注目選手を紹介

24 光永 祐也
DF MF 22歳 福岡県出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

今季にＪ２熊本から移籍加入した。第22節までの20試合で14試合に出場。左のウイングバックを務め、サイドを攻守に動き回る。前半戦ではクロスボールやＣＫでゴールをアシストしている。

「クロスや運動量を見てほしい。失点しなければ負けないので、守備から入って、攻撃になった時に切り替えを速くすること、チームで守備をして、目の前の選手に抜けられないようにして、チャレンジ＆カバーでやっていきたい」

16 鮫島 晃太
MF 26歳 鹿児島県出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

2016年に加入し１年目は全30試合に出場。だが昨年７月16日のＹＳ横浜戦で右ひざを負傷し、治療とリハビリで約１年間を要した。そして今年７月初めに完全復帰し、リーグ戦中断明けの８月26日第20節からボランチで３試合連続先発出場した。

「チームのバランスを取って、前に絡んで得点を決めるところを見てほしい。守備ではスライドを速くして運動量を多くすること、そしてボールを奪った後に前に出て点を取れるように意識してプレーしている」

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 10

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

皇后杯JFA 第40回全日本女子サッカー選手権大会

静岡県決勝大会

ルクレMYFCが３位に

皇后杯全日本女子選手権静岡県決勝大会は、16チームが参加して８月26日から９月24日まで行われた。

準々決勝から参戦したルクレMYFCは桐陽高校と対戦した。開始２分に先制を許したが、14分に北沢美羽のクロスを小田巻遥が後ろ向きでの技ありシュートを決め追いついた。この１点で落ち着きペースを掴むと、20分に成島梓のゴールで勝ち越した。さらに後半40＋５分には鈴木愛理がだめ押しの３点目を奪い、２年連続で４強入りした。常葉大橘中学校との対戦となった準決勝は、相手の早い寄せでクリアボールを奪われなかなか前につなげられない。それでも前半36分にCKで好機を作るが、長谷川舞のヘディングシュートはポストに弾かれ、０対０で折り返す。すると後半に入り、相手にスルーパスやドリブルで抜けられるなどして４点を献上。決勝進出はならなかった。

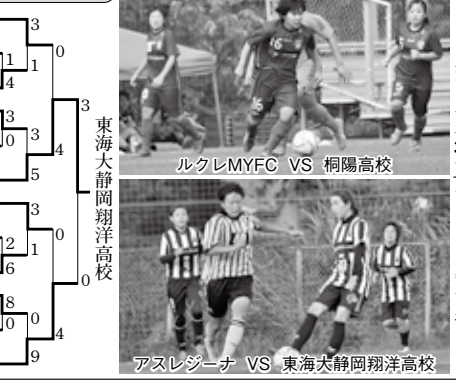
アスレジーナはベスト８入り

アスレジーナは２回戦で浜松泉FCを３得点で下して準々決勝に進み、東海大静岡翔洋高校と対戦した。シーソーゲームとなったこの試合で先制したのはアスレジーナ。立ち上がり３分にFKを引沼友希が直接決めた。だが、５分に追いつかれると11分に勝ち越しを許した。それでも32分にDFのパスを奪った星川奈留美が決めて同点にする。４分後にロングシュートで再び勝ち越されるが、後半８分にまたも星川が抜け出し追いついた。しかし、24分、28分と続けて相手にゴールを許し、三度追いつくことはできず、前回に続く準決勝進出はならなかった。

ルクレMYFC　VS　桐陽高校

アスレジーナ　VS　東海大静岡翔洋高校

全日本女子サッカー選手権大会静岡県決勝大会 試合結果



東海大会

藤枝順心高校が全国大会出場権獲得

皇后杯の予選を兼ねる東海女子サッカー選手権大会が10月６日、７日、13日、14日に岐阜県で行われた。今回はなでしこチャレンジリーグ２チームに加え、東海女子リーグ１部の４チームが東海大会からの参加となり、藤枝順心高校が出場した。各県代表を合わせた12チームのトーナメント戦で争われ、上位４チームが全国大会の出場権を得た。

東海リーグ１部前期２位の藤枝順心高校は準々決勝が初戦となり、名古屋経済大学と対戦した。勝てば全国行きが決まるこの試合で大学生を相手に優位に進め前半に金子麻優のゴールで先制すると後半には池口響子が決めてリードを広げる。終了間際にGKのパスを奪われロングシュートで１点を返されるが、そのまま逃げ切り全国切符を手にした。

なお、なでしこチャレンジリーグのJFAアカデミー福島との対戦となった準決勝以降の試合結果は次号でお伝えする。

試合結果
〈２回戦〉
藤枝順心高校　２―１　名古屋経済大学

全国大会

１回戦と３回戦を藤枝で開催

皇后杯全日本女子サッカー選手権大会の１回戦と３回戦が今回も藤枝で開催される。全国９地域の代表28チームに、なでしこリーグ１部と２部の20チームを合わせた48チームがトーナメント戦で争い、１回戦は11月３日と４日に藤枝総合運動公園陸上競技場で、３回戦は12月１日と２日に同サッカー場で全日２試合ずつが行われる。

今年度、中西部支部の重点目標の一つであるこの大会の開催と運営を、みんなで協力して成功させよう。また、なでしこリーグのチームの来藤も見込まれ、日本のトップレベルのプレーを間近で見ることができる良い機会でもあるので、是非、会場に足を運んで観戦しよう。入場は無料。

試合日程

回戦	期日
１回戦	11月３日(土)・４日(日)
２回戦	11月24日(土)・25日(日)
３回戦	12月１日(土)・２日(日)
準々決勝	12月22日(土)
準決勝	12月29日(土)
決勝	１月１日(祝)

藤枝順心高校が12回目の出場

東海大会を勝ち上がった藤枝順心高校が12回目の全国に挑む。なでしこリーグ勢との対戦を目指して、まずは１回戦に臨む。なお、10月14日現在で組み合わせは未定。今回は決勝が２０１９年１月１日に行われる。

第73回国民体育大会 サッカー競技

静岡県選抜 全種別初戦敗退

国民体育大会のサッカー競技が９月30日から10月４日まで福井県坂井市で開催された。静岡県は成年男子、女子、少年男子の全種別で県選抜が出場したが、初めて全てが初戦敗退を喫した。

成年男子

東海社会人リーグ所属チームの選手が主体で中西部勢11人が登録された静岡県は、１回戦で宮崎県と対戦した。相手はJFL２チームの選手11人を登録。それでも前半12分に、鈴木貴也（矢崎バレンテFC）の右CKを登崎雅貴（矢崎バレンテFC）が頭で合わせたこぼれ球を高橋祐樹（藤枝市役所）が蹴り込み先制。相手より多いシュートを放つも追加点を奪えず、１点リードで折り返す。すると後半４分にカウンターで追いつかれて、その後は守勢を強いられる時間が増えた。それをしのいでPK戦に持ち込むも、８人目が互いに決められず２巡目に入った12人目が止められ、10対11で惜しくも敗れた。

試合結果
〈１回戦〉
宮崎県　１―１　静岡県
（PK11―10）

少年男子

静岡県は１回戦で準優勝した石川県と対戦した。前半に９本のシュートを放ち攻め込むが得点できずに折り返す。後半24分に左サイドからのボールを決めて先制するが、直後に追いつかれてしまう。70分間で静岡のシュート16本に対し石川は３本も、このままPK戦に突入し４対５で惜敗した。

県選抜に怪我による大会直前のメンバー交代により藤枝東高校１年のDF稲葉楽が選ばれ出場した。

DF 稲葉 楽
（藤枝東高校1年）

試合結果
〈１回戦〉
石川県　１―１　静岡県
（PK５―４）

女子

女子はなでしこリーグ１部のAC長野パルセイロレディースの所属選手８人が登録された長野県と対戦した。静岡県は大学生と高校生の混合チームで、県外在住選手も多く、集まって練習をする機会はほとんどなかった。連携不足は否めなかったが、相手より多いシュート11本を放ち攻めた。だが、後半も終盤の33分にCKから決められ、この１点で惜しくも敗れた。この県選抜には、東海予選と同じ藤枝順心高校の４選手とOG３選手が選出された。

試合結果
〈１回戦〉
長野県　１―０　静岡県

静岡ゴールデンサッカーアカデミー2018 静岡国際ユース（U-15）サッカー大会

県代表チームで中西部登録１選手が出場

静岡ゴールデンサッカーアカデミー静岡国際ユース（U―15）サッカー大会が、10月６日から８日までエコパスタジアムと同補助競技場で開催された。今回は海外からメキシコのCDグアダラハラとスペインのRCセルタ・デ・ビーゴの２チームを招き、静岡県からは清水エスパルスジュニアユースと県代表のTeamSSSが参加。４チームが総当たり戦で争った。

初戦でTeamSSSに勝利した清水エスパルスJYが勝ち点３で３位、TeamSSSは４位となったが、優勝したグアダラハラとの最終戦で、前半に２点のリードを許すも後半に追いつきPK戦に持ち込んだ。そして１人目が失敗し惜しくも敗れたが勝ち点１を獲得した。

TeamSSSには藤枝東FC３年のFW中島琉斗が選出され、トップで３試合に出場した。

TeamSSSの中島琉斗選手

試合結果

	グアダラハラ	セルタ・デ・ビーゴ	清水JY	SSS	勝点	順位
CDグアダラハラ		○4-3	○5-3	△2-2 5PK4	8	1
RCセルタ・デ・ビーゴ	●3-4		○2-1	○4-0	6	2
清水エスパルスジュニアユース	●3-5	●1-2		○5-1	3	3
TeamSSS（静岡県代表U-15）	▲2-2 4PK5	●0-4	●1-5		1	4

勝点：勝ち=3、PK勝ち=2、PK負け=1、負け=0

藤枝MYFC J3戦記

石﨑新体制で初勝利

第25節のギラヴァンツ北九州戦で引き分けて連敗を止め、６試合ぶりに勝ち点を得た藤枝MYFC。翌26節は10月７日、グルージャ盛岡を藤枝に迎えた。攻勢に出た藤枝だが、13分に右サイドのスローインから中に繋がれ先制を許してしまう。それでも38分に大竹隆人が遠藤敬佑との２度のワンツーパスで中央に抜けてゴールを決め、前半の内に追いついた。そして後半25分、途中出場の大迫希がドリブルで持ち上がり、大竹に預けたボールを再び受けてシュート。これが決まり決勝点となって、石﨑信弘監督の新体制になって初の、そして10試合ぶりの勝利を掴んだ。

前に重きを置いたシステムを失点後に変更して「DFが安定したら攻撃でもいい場面が出てきた」と石崎監督。「高い位置でボールを奪うことはずっと続けて」と。

藤枝MYFCの試合結果（９月16日～10月７日）
〈第23節〉●１―２　セレッソ大阪U―23
〈第24節〉●１―２　アスルクラロ沼津
〈第25節〉△１―１　ギラヴァンツ北九州
〈第26節〉○２―１　グルージャ盛岡

藤枝MYFC　VS　グルージャ盛岡

GO!GO! MYFC 注目選手を紹介

サッカークリニックを実施

８月から９月にかけて藤枝MYFCの選手やスタッフによる小学生を対象とするサッカークリニックが各所で行われた。８月18日に開催された全国PK選手権大会inFujiiedaを皮切りに、同月25日には焼津東小学校で焼津JSCと小川SSSの合同で行われた。Jリーグタイトルパートナーの明治安田生命によるサッカー教室も９月23日にサンワフィールドばらの丘で実施され選手が指導。さらに翌24日には藤枝市サッカー協会グループのトップアスリート事業として、藤枝総合サッカー場で藤枝市少年リーグ戦の閉会式後に５・６年生約２３０人を対象に行われ、石﨑監督やコーチが指導にあたった。

ホームタウン在住者をホームゲーム無料招待

藤枝MYFCはHOME TOWN THANKS２DAYSとして、11月３日と11月17日の２日に分けて、ホームタウンとなる中西部内在住者をホームゲームに無料招待する。11月３日の福島ユナイテッドFC戦は焼津市・牧之原市・川根本町、11月17日の鹿児島ユナイテッドFC戦は藤枝市・島田市・吉田町の在住者が対象となり、A自由席で観戦できる。両日ともに13時開始。スタジアム正面広場において受付。在住でことが確認できる身分証の提示が必要となる。

18 遠藤 敬佑
FW 29歳 千葉県出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

2016年に町田から移籍加入し、昨年までの２年間で53試合に出場して18得点を記録。今季は富山に移籍したが、８月に再び藤枝に戻った。加入後の26節までの７試合に出場を続け１得点１アシスト。

「ゴールの近くで点を取ることや取らせる仕事に拘っていて、今までやってきた武器だと思う。監督にはポストプレーや溜めを作ったりで常に顔を出してボールを貰ってほしいと言われている。自分でも好きなプレーであり応えられるようにしたい」

25 川上 盛司
DF MF 23歳 栃木県出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

今年、仙台大学を卒業しJ２栃木移籍で加入した。昨年は特別指定選手として福島で藤枝戦など２試合に出場。藤枝での今季は、監督交代後26節までの７試合にフル出場。右のウイングバックを務め、攻守に走り続ける。

「運動量豊富に走って１対１で負けないのが武器なので、そこを見てもらいたい。元々はサイドバックなどをやっていてディフェンスは得意なので、課題は攻撃の面でクロスなどをもっと磨いていければと思う」

中西部

ヤングサッカーニュース

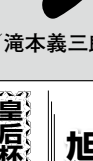
2018 11

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

橋本忠廣氏 旭日双光章受章

（スポーツ振興功労）

元県体育協会理事



橋本忠廣氏（82歳）が今年の秋の叙勲においてスポーツ振興功労で旭日双光章を受章された。元県体育協会理事。

橋本氏は藤枝東高校在学時に同校初の愛媛国体出場に貢献。社会人でも選手として静岡県選抜などで国体に4回、監督や代表としても出場。志太サッカークラブで天皇杯にも出場した。静岡県サッカー協会の社会人部長や専務理事を歴任され、人生の大半においてサッカーの普及や強化のために組織の運営に関わり、静岡県サッカーの発展に寄与された。２００２年W杯日韓大会では静岡県内誘致の実現に尽力された。

皇后杯JFA第40回全日本女子サッカー選手権大会

藤枝で1回戦を実施 12月1日、2日に3回戦も開催

皇后杯全日本女子サッカー選手権大会の1回戦が11月3日、4日に行われ、藤枝総合運動公園陸上競技場で2試合ずつの4試合が実施された。また、3回戦も12月1日、2日の両日に2試合ずつの4試合を藤枝総合運動公園サッカー場で開催する。1回戦に続き運営で協力してやっていこう。

この3回戦では、なでしこリーグの強豪チームの来藤も予想され、ハイレベルのプレーを間近で観戦できる。入場は無料。

藤枝順心高校 VS 岡山作陽高校

藤枝順心高校が初戦突破

東海大会を勝ち上がり12回目の出場を決めた藤枝順心高校が、11月3日に藤枝会場で1回戦を戦った。今年1月の全日本高校女子選手権決勝で対戦した岡山作陽高校を相手に4得点で快勝した。前半25分に池口響子のクロスを小原蘭菜が頭で合わせて先制。38分には金子麻優が決めてリードを広げると、後半には野嶋彩未の2ゴールで突き放した。

11月25日の2回戦ではなでしこリーグ1部3位のノジマステラ神奈川相模原とリーグ1部3位の藤枝順心高校が対戦する。格上のチームに持てる力を発揮して挑みたい。3年前の大会で、この年になでしこリーグ1部で優勝した日テレ・ベレーザを相手に敗れはしたが好ゲームを演じ、その後の高校女子選手権で全国優勝しており、今回の2回戦も高校女子選手権にいい形でつなげたいと多々良監督は話す。

そしてこの勝者は3回戦を藤枝で戦うことになる。藤枝順心高校が再び藤枝会場に戻ってくることを期待したい。

皇后杯JFA第40回全日本女子サッカー選手権大会 組み合わせ及び試合結果

- 日テレ・ベレーザ（なでしこ1部）
- JFAアカデミー福島（東海）　11/25(日) 富14:00　1－0
- ちふれASエルフェン埼玉（なでしこ2部）
- オルカ鴨川FC（なでしこ2部）　11/24(土) 佐10:30　1－4
- 北海道大谷室蘭高校（北海道）
- 大東文化大学（関東）　12/22(土) ユ16:00
- セレッソ大阪堺レディース（なでしこ1部）
- 日テレ・メニーナ（関東）　11/24(土) 富11:00　5－2
- 吉備国際大学Charme岡山高梁（中国）
- マイナビベガルタ仙台レディース（なでしこ1部）　12/2(日) 広11:00
- 福岡J・アンクラス（九州）　11/24(土) 富14:00　0－3
- 早稲田大学（関東）　12/29(土) 吹12:00
- AC長野パルセイロ・レディース（なでしこ1部）
- 武庫川女子大学（関西）　11/25(日) 佐13:30　5－4（延長）
- 四国学院大学香川西高校（四国）
- 愛媛FCレディース（なでしこ2部）　12/1(土) 広11:00
- 常盤木学園高校（東北）　11/24(土) 新11:00　3－1
- アルビレックス新潟レディースU-18（北信越）
- ニッパツ横浜FCシーガルズ（なでしこ2部）　12/17(月) ユ16:00
- 神奈川大学（関東）　10/25(日) 新14:00　3－2
- 全保連琉球デイゴス（九州）　12/2(日) 広14:00
- 浦和レッズレディース（なでしこ1部）
- ノルディーア北海道（北海道）　11/24(土) 三11:00　1－3
- バニーズ京都SC（なでしこ2部）

1/1(祝) 吹 14:45

- ノジマステラ神奈川相模原（なでしこ1部）
- 藤枝順心高校（東海）　11/25(日) 佐10:30　4－0
- 岡山県作陽高校（中国）
- スフィーダ世田谷FC（なでしこ2部）　12/1(土) 藤11:00
- 聖和学園高校（東北）　11/25(日) 三11:00　0－4
- ASハリマアルビオン（なでしこ2部）　12/22(土) 栃14:00
- 伊賀FCくノ一（なでしこ2部）
- 聖泉大学（関西）　11/25(日) 富11:00　0－6
- 帝京平成大学（関東）
- ジェフユナイテッド市原・千葉レディース（なでしこ1部）　12/1(土) 広14:00
- アンジュヴィオレ広島（中国）　11/25(日) 新11:00　4－0
- 福井工業大学附属福井高校（北信越）
- アルビレックス新潟レディース（なでしこ1部）　12/29(土) 吹15:00
- 仙台大学（東北）　11/24(土) 新14:00　2－5
- 岡山湯郷Belle（なでしこ2部）
- 日体大FIELDS横浜（なでしこ1部）　12/2(日) 藤11:00
- ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18（関東）　11/24(土) 佐13:30　3－0
- 常葉大学附属橘高校（東海）
- 静岡産業大学磐田ボニータ（なでしこ2部）　12/22(土) 栃11:00
- 日体大FIELDS横浜サテライト（関東）　11/24(土) 三14:00　0－0（5PK4）
- 大阪体育大学（関西）
- INAC神戸レオネッサ（なでしこ1部）　12/2(日) 藤14:00
- NGUラブリッジ名古屋（東海）　11/25(日) 三14:00　3－0
- 大阪桐蔭高校（関西）

＜会場＞佐：佐久総合運動公園陸上競技場　新：新潟市陸上競技場　富：富山県総合運動公園陸上競技場
三：兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場　藤：藤枝総合運動公園サッカー場　広：広島広域公園第一球技場
ユ：ユアテックスタジアム仙台　栃：栃木県グリーンスタジアム　吹：パナソニックスタジアム吹田

東海地区予選

藤枝順心高校が3位で12回目の全国へ

東海女子選手権大会は10月13日、14日に準決勝と決勝、3位決定戦が行われた。前週の試合で全国大会の出場権を得ている藤枝順心高校は（前号に掲載）、翌週の高校女子選手権県大会を考慮して初戦とはメンバーを変えて臨んだ。準決勝では

JFAアカデミー福島に3点を先行された後に1点を返すに止まり敗れて3位決定戦に進んだ。そして常葉大橘高校と対戦して、2度許したリードを追いつき最後は逆転して3位となった。

試合結果（中西部勢の試合のみ）

〈準決勝〉
JFAアカデミー福島　3－1　藤枝順心高校

〈3位決定戦〉
藤枝順心　3－2　常葉大橘高校

第97回全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会

決勝トーナメント

藤枝対決の準々決勝を明誠が制す

全国高校サッカー選手権静岡県大会は決勝トーナメントの準々決勝が11月4日に行われ、藤枝明誠と藤枝東が対戦した。この市内対決は選手権では第91回大会準決勝以来6年ぶり。

攻守が激しく入れ替わる中、先制したのは藤枝明誠。前半35分に山岡晃太朗のFKを秋山仁がつなぎファーサイドに抜け出た草ケ谷義愛が蹴り込んだ。藤枝東も後半5分に前原乙仁のCKを平出海が頭で合わせ、一旦はGKが弾くがこぼれ球を田村祐二朗がボレーで決めて追いついた。互いに気迫のこもった攻防で、試合はこのまま延長戦でも決着がつかず

PK戦に突入。藤枝明誠は5人全員が決め、続く藤枝東の5人目を明誠のGK川野一樹が止めて決着。5対4で制した藤枝明誠が準決勝進出を決めた。

藤枝明誠　松本安司監督
「後半に相手の圧力が掛かるのは分かっていた。今日は決して守りに入らずゲームができた。よく頑張った」

藤枝東　小林公平監督
「後半はもう少し押し込めるかなと思ったが押し切れなかった。ゴール前のパワーがなかった」

藤枝明誠 VS 藤枝東

決勝トーナメント組み合わせ及び試合結果

11/3(土)　11/4(日)　11/11(日)　11/17(土)

- 清水桜が丘 4－0 焼津中央
- 浜名 1－2 富士市立
- 清水東 1－0 科学技術
- 飛龍 0－3 静岡学園
- 浜松開誠館 3－2 東海大静岡翔洋
- 袋井 0－1 常葉大橘
- 藤枝明誠 1－0（5PK4） 磐田東
- 加藤学園 1－2 藤枝東

日13:30

＜会場＞日：IAIスタジアム日本平

1次トーナメント

焼津中央が6年ぶりの決勝T進出 藤枝東、藤枝明誠も決勝Tへ

1次トーナメントは10月20日まで行われ、16校が決勝トーナメントに進んだ。中西部勢では4回戦で第1シードの藤枝東が加藤学園暁秀を、第2シードの藤枝明誠が城南静岡をそれぞれ破って1次トーナメントを突破。そして第4シードの焼津中央は静岡北をPK戦の末に下して6年ぶりに決勝トーナメントに進出した。

1次トーナメント試合結果（中西部勢の試合のみ）

〈1回戦〉
島田商業　3－1　菊川南陵

〈2回戦〉
藤枝西　3－1　焼津流産
磐田農業　3－1　清流館
島田樟誠　3－0　川根
清水西　3－0　浜松北工業
加藤学園暁秀　3－2　静川
浜松湖南　2－1　榛原
相良　4－0　掛川西
藤枝明誠　0－0（PK6－5）　浜松北
島田工業　1－1（PK4－3）　浜松湖北

〈3回戦〉
静岡北　2－0　浜松日体
小山　7－1　島田商業
金谷　9－1　島田樟誠
藤枝東　7－0　藤枝西
浜松開誠館　7－0　静岡学園
小笠　8－0　相良
藤枝明誠　14－0　島田樟誠
島田工業　4－0　沼津高専
藤枝明誠　4－0　韮山
焼津中央　1－0　伊東
静岡北　5－1　袋井商業
藤枝明誠　6－0　城南静岡
藤枝東　4－1　加藤学園暁秀
科学技術　0－0（PK4－3）　静岡北

〈4回戦〉
焼津中央　0－0　島田工業
藤枝明誠　1－0　城南静岡
藤枝東　0－0　静岡北

藤枝MYFC J3戦記

今季2度目の3連勝

第26節のグルージャ盛岡戦での後半戦初勝利（前号に掲載）から今季2度目の3連勝を記録した。

10月13日の27節、ホームでのガンバ大阪U－23との試合は、前半31分に中央から決められた先制を許す。だが、43分に大竹隆人のCKを養父雄仁がヘッドで決め追いつくと、45分には水野泰輔のパスを受けた遠藤純輝がドリブルで運びシュート。これが決まり逆転に成功。後半は相手に押し込まれるもウィングバックも下がっての5バックで対応し、そのまま逃げ切った。「先制点を取られたが、諦めない気持ちが随分出て逆転できたのでは」と石崎信弘監督は成長を挙げつつも「奪ったボールをどう正確に速く動かしていけるか」と課題も明確だ。

続く20日の28節、Y・S・C・C横浜とのアウェー戦は、前半にCKを阿渡真也が頭で合わせて先制。後半早々に追いつかれるが、遠藤純輝と谷口堅三のゴールで突き放して3連勝した。

同月28日のFC東京U－23戦では、稲垣雄太が藤枝のJ3通算200得点となる節目のゴールを決め、翌週の福島ユナイテッドFCとのホーム戦では大竹のゴールで、ともに敗れはしたが、23節以降の8試合で、毎試合得点を続けている。

藤枝MYFCの試合結果（10月13日～11月3日）

〈第27節〉
○2－1　ガンバ大阪U－23

〈第28節〉
○3－1　Y・S・C・C横浜

〈第29節〉
●1－2　FC東京U－23

〈第30節〉
●1－2　福島ユナイテッドFC

藤枝MYFC VS 福島ユナイテッドFC

GO!GO! MYFC 注目選手を紹介

28 遠藤 純輝

FW 23歳 岐阜県出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

今年、町田から移籍加入し、30節現在で19試合に出場。トップ下のシャドーと呼ばれる位置でゴールを狙い、今季4得点。連勝した27節と28節では2試合連続得点を決めている。

「ボールを持っていない時の動き出しのプレーを見てほしい。背後へのアクションが自分の良さでもあるので、それをどう結果（ゴール）につなげられるかが課題。それができるかどうかで試合の状況も変わってくると思うので、周りとも連携して、もっと考えてやらなければいけない」

22 齊藤 隆成

DF MF 24歳 大阪府出身

© 2018 FUJIEDA MYFC

今季に水戸から期限付き移籍で加入し、第30節までの28試合で15試合に出場。26節以降は4試合にフル出場。本来はDF登録だが藤枝ではウィングバックとしての出場が続く。

「サイドなので縦に仕掛けるプレーやクロスを得意としていて、そこを見てほしい。（監督からは）まずは守備をしっかりするために最終ラインまで全力で戻り、攻撃では全力で前に走れという指示が多い。守備で5バックを作りそこから前に出ていくので、きついがやり甲斐はある」

中西部
ヤングサッカーニュース
2018 12
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第27回 全日本高校女子サッカー選手権大会

東海地区予選

藤枝順心が2年ぶりの優勝
15大会連続の全国大会出場決定

全日本高校女子選手権の東海地区予選が11月11日、17日、18日に三重県鈴鹿市で行われた。準決勝から登場した藤枝順心は愛知２位の豊川と対戦し、前半に２得点、後半も４点を加えて６対０で快勝。決勝進出と同時に、３チームに与えられる全国大会の出場権を15大会連続で獲得した。

準決勝で磐田東を破った聖カピタニオ女子（愛知１位）との対戦となった決勝は、優位に進めるがゴールを奪えず、試合は延長戦に突入した。それでも延長前半２分に角田菜々子の折り返しを池口響子がダイレクトシュートで決めて先制。この１点が決勝点となり、藤枝順心が２年ぶりの優勝を果たし、東海１位での全国行きを決めた。

今大会でも課題となっている決定力不足の解消とはいかなかったが、全国大会までにどこまで得点力をアップさせることができるかが注目される。

全日本高校女子選手権東海地区予選 試合結果

藤枝順心	6	0	1
帝京大可児	0	0	0
豊川	3	延長	0
聖カピタニオ女子	2	2	0
三重	0	3	0
磐田東	1		

全国大会

藤枝順心 2連覇に挑む

全日本高校女子サッカー選手権大会は、1月3日から13日まで兵庫県で開催される。東海地区予選を勝ち上がり15大会連続の出場を決めた藤枝順心が２連覇に挑む。

1回戦で高校総体準決勝の雪辱目指す

全国９地域の代表32校によるトーナメント戦で争われるこの大会。藤枝順心は１回戦で今夏の高校総体の覇者、常盤木学園（東北１位・宮城県）と対戦することになった。総体では準決勝で対戦し、終了間際の１失点での惜敗と悔しい思いをしているだけに、この１回戦屈指の好カードで雪辱を果たして勝ち進みたい。

さらに勝ち上がれば、準々決勝で高校総体準優勝の日ノ本学園（関西２位・兵庫県）や関東１位の修徳（東京都）、準決勝では九州１位で優勝経験のある神村学園（鹿児島県）などと対戦する可能性があり、強豪との試合が続くことが予想される。この厳しいブロックを勝ち抜いて、２年連続４回目の優勝を目指す。

第97回 全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会

藤枝明誠 準決勝で敗れる

全国高校サッカー選手権静岡県大会は11月11日に準決勝、17日に決勝が行われ、準決勝に勝ち進んだ藤枝明誠が浜松開誠館と対戦した。

藤枝明誠 VS 浜松開誠館

相手の寄せが早くリズムをつかめずにいると、前半11分にＣＫからの２次攻撃で先制点を奪われる。40分にも左クロスに合わされ追加点を許すと、後半も終盤にミドルシュートなどで２点を奪われた。藤枝明誠も好機を作るがシュートがミートしないなどで得点できず０対４で敗れ、決勝進出はならなかった。松本安司監督は「完敗。良さが出せなかった」と振り返った。だが今年の新人大会で県大会出場を逃したところからスタートしたチームが準決勝まで勝ち進み「ここまで来たことを褒めたい」と選手を労った。

準決勝・決勝の試合結果

〈準決勝〉
浜松開誠館　４－０　藤枝明誠
静岡学園　１－０　清水桜が丘
〈決勝〉
浜松開誠館　２－１　静岡学園

表彰

決勝戦後の表彰式では今大会の優秀選手などの表彰が行われた。中西部関係の表彰者は次の通り。

ベストイレブン

DF 秋山 仁
藤枝明誠3年

優秀レフリー

増田 雄也
榛原高校教員

第27回全日本高校女子サッカー選手権大会 組み合わせ

1/3(木)　1/4(金)　1/6(日)　1/7(月)　1/13(日)　1/7(月)　1/6(日)　1/4(金)　1/3(木)

- 藤枝順心（東海1）
- 常盤木学園（東北1）　三陸①
- 専修大北上（東北3）
- 神戸弘陵学園（関西3）　いA①
- 北海道文教大明清（北海道1）　三陸①
- 日ノ本学園（関西2）　三2②
- 修徳（関東1）
- 秀岳館（九州2）　み2②　三陸②
- 十文字（関東2）
- 松江商業（中国3）　いA②
- 福井工業大附属福井（北信越2）
- 四国学院大香川西（四国2）　五メ②　み1②
- 開志学園ＪＳＣ（北信越3）
- 広島文教女子大附属（中国2）　いB①
- 神村学園（九州1）　み2①　三2①
- 帝京長岡（北信越1）　み2①

神ユ 11:00　神ユ 14:00　決勝 神ユ 14:10

〈時間〉
①10:30
②13:45

- 大商学園（関西1）
- 星槎国際湘南（関東3）　三2①
- 北海道大谷室蘭（北海道2）
- 筑陽学園（九州4）　み1①　五サ①
- 花咲徳栄（関東4）　三2②
- 鳴門渦潮（四国1）
- 日本航空（関東5）　五メ①　三2①
- 京都精華学園（関西4）　み1①
- 磐田東（東海3）
- 東海大福岡（九州3）　五サ②　み2②
- 鹿島学園（関東7）
- 兵庫県播磨（開催県）　いB②　三陸②
- 聖和学園（東北2）
- 聖カピタニオ女子（東海2）　み1②　三2②
- 前橋育英（関東6）
- 岡山県作陽（中国1）　三陸②

＜会場＞三陸：三木総合防災公園陸上競技場　三２：三木総合防災公園第２陸上競技場
み１：みきぼうパークひょうご第１球技場　み２：みきぼうパークひょうご第２球技場
いＡ：いぶきの森球技場Ａグラウンド　いＢ：いぶきの森球技場Ｂグラウンド
五メ：五色台運動公園メイングラウンド　五サ：五色台運動公園サブグラウンド
神ユ：神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

藤枝MYFC J3戦記

上位の群馬に完封勝利
ホーム最終戦を白星で飾る

11月24日の第33節はザスパクサツ群馬を迎えてのホーム最終戦。前半から気迫のこもったプレーを見せた藤枝は、40分に大竹隆人の左ＣＫをファーサイド後方にいた大迫希がダイレクトボレーで鮮やかに決めて先制点を奪った。「（相手を）研究して、できたスペースをうまく突いていこうとトレーニングした結果がゴールにつながった」と石崎信弘監督。終盤に相手の猛攻を受けたが、粘り強く跳ね返して耐え続けた。３位につけＪ２昇格を目指すチームを相手に、そのまま無失点で逃げ切りホーム最終戦を勝利で飾った。

変革のシーズンが終了

運営会社の筆頭株主変更に伴い、代表交代があり、新体制で迎えた２０１８年シーズンは、途中で監督交代もあり、変革の１年となった。

昨年、一昨年と比べてホーム戦の負けが多く、上位浮上のきっかけをつかみきれないまま、ガイナーレ鳥取戦との最終戦も逆転負けを喫して、10勝４分け18敗の16位で今季を終えた。

石崎監督は後半戦を振り返り「ゲーム内容としてはある程度、目標としていることができたが、勝ちという結果がなかなか出なかった中で、選手はトレーニングからよく戦ってくれた。ただ、勝てない原因として個人的な戦術ミスや技術のミスなどがあった。トレーニングの中で改善しながら戦ってきて、失点は随分減ってきたが、攻撃の部分でもっと自分たちから崩して点が取れるようにしていかなければいけない」と総括した。

石崎監督 来季も続投

石崎信弘監督の来期継続が12月３日に発表された。今季７月後半に就任し第20節からの15試合で指揮を執った。石崎監督はチームを通して「今シーズンの経験を踏まえ飛躍できるよう努力してまいります。より多くの勝利を収め応援してくださる皆さまと喜びを分かち合えるよう、選手・スタッフ共にベストを尽くします」とコメントとした。

ファン感謝デー開催

藤枝ＭＹＦＣでは初めてのファン感謝デーが12月８日に静岡産業大学藤枝キャンパス体育館で開催された。「冬の大運動会」と題して行われ、事前に応募のあったサポーター160名が参加。選手とともに４チームに分かれて、チーム対抗戦で玉入れや綱引きなどを実施。選手とサポーターが交流を深め楽しい一時を過ごした。

藤枝ＭＹＦＣの試合結果（11月11日～12月２日）

〈第31節〉●０－１ ＳＣ相模原
〈第32節〉●０－２ 鹿島ユナイテッドＦＣ
〈第33節〉○１－０ ザスパクサツ群馬
〈第34節〉●１－２ ガイナーレ鳥取